

**2018年10月9～10日**

世論調査 (NHK)、翁長さん県民葬、米朝・日韓、加計・森友、軍備、国会・政局

## 安倍内閣「支持する」42%「支持しない」40% NHK世論調査

NHK10月9日 19時21分



NHKの世論調査によりますと、安倍内閣を「支持する」と答えた人は、先月と同じ42%だったのに対し、「支持しない」と答えた人は、1ポイント上がって40%でした。

NHKは今月6日から3日間、全国の18歳以上の男女を対象に、コンピューターで無作為に発生させた固定電話と携帯電話の番号に電話をかける「RDD」という方法で世論調査を行いました。

調査の対象となったのは2172人で、59%にあたる1271人から回答を得ました。

それによりますと、安倍内閣を「支持する」と答えた人は、先月と同じ42%でした。「支持しない」と答えた人は40%で、先月より1ポイント上がりました。

支持する理由では、「ほかの内閣より良さそうだから」が47%、「実行力があるから」が16%、「支持する政党の内閣だから」が14%でした。

逆に、支持しない理由では、「人柄が信頼できないから」が45%、「政策に期待が持てないから」が26%、「支持する政党の内閣でないから」が10%でした。

### 内閣改造と自民党役員人事

さきに行われた内閣改造と自民党役員人事を全体として評価するか聞いたところ、「大いに評価する」が4%、「ある程度評価する」が29%、「あまり評価しない」が36%、「まったく評価しない」が20%でした。

内閣改造について聞きました。安倍総理大臣は麻生副総理兼財務大臣を留任させました。野党側は決裁文書改ざんの責任を取っていないなどと批判しています。

麻生氏の留任について、「よかった」が17%、「よくなかった」が42%、「どちらともいえない」が34%でした。

自民党総裁選挙で戦った石破派の山下貴司氏を法務大臣に起用したことについて、「大いに評価する」が7%、「ある程度評価する」が47%、「あまり評価しない」が23%、「ま

ったく評価しない」が8%でした。

内閣が最も力を入れるべきこと

安倍内閣が今後、最も力を入れて取り組むべきだと思うことを聞いたところ、「社会保障」が28%、「経済政策」が20%、「地方活性化」が14%、「外交・安全保障」と「防災対策」が11%、「憲法改正」が6%でした。

### 自民 憲法改正案

安倍総理大臣は今月下旬に召集される臨時国会に、自民党の憲法改正案を提出できるよう党内議論を加速させたい考えを示しています。

これについて聞いたところ、「提出すべき」が17%、「提出する必要はない」が36%、「どちらともいえない」が38%でした。

憲法改正について、戦力の不保持などを定めた9条を維持したまま、自衛隊の存在を明記することに賛成か反対か聞いたところ、「賛成」が30%、「反対」が19%、「どちらともいえない」が40%でした。

## 日朝首脳会談 半数以上が「できるだけ早く」 NHK世論調査

NHK10月10日 7時06分



安倍総理大臣が意欲を示す日朝首脳会談についてNHKの世論調査で聞いたところ、「できるだけ早く行うべき」と答えた人が55%で、半数を超えました。

NHKは今月6日から3日間、全国の18歳以上の男女を対象にコンピューターで無作為に発生させた固定電話と携帯電話の番号に電話をかける「RDD」という方法で世論調査を行いました。調査の対象となったのは2172人で、59%に当たる1271人から回答を得ました。

安倍総理大臣が、拉致問題の解決に向けて意欲を示す、北朝鮮のキム・ジョンウン（金正恩）朝鮮労働党委員長との首脳会談について、「できるだけ早く行うべき」が55%、「急いで行う必要はない」が19%、「どちらともいえない」が18%でした。

安倍総理大臣は、アメリカのトランプ大統領と会談し、農産品などの関税を含む2国間交渉を始める一方、交渉が続いている間は、自動車などの関税を引き上げないことで合意しました。これについて、「大いに評価する」が9%、「ある程度評価する」が47%、「あまり評価しない」が24%、「まったく評価しない」が8%でした。

沖縄県知事選挙で当選した玉城新知事は、アメリカ軍普天間基地を名護市辺野古に移設させる計画に反対していますが、政府は、予定どおり、移設を進める方針です。政府の

方針について、「賛成」が23%、「反対」が32%、「どちらともいえない」が36%でした。

## 各党の支持率 NHK世論調査

NHK2018年10月9日 19時23分



各党の支持率は、自民党が36.3%、立憲民主党が6.1%、国民民主党が0.8%、公明党が3.3%、共産党が2.7%、日本維新の会が0.5%、希望の党が0.2%、自由党が0.6%、社民党が0.5%、「特に支持している政党はない」が41.5%でした。

## 支持率横ばいに「反省怠らず」＝二階自民幹事長

自民党の二階俊博幹事長は9日午前の記者会見で、内閣改造後の報道各社の世論調査で内閣支持率に上昇傾向が見られず、ほぼ横ばいだったことに関し、「国民の判断はなかなかいいところを指し示すものだ。これからも反省を怠らずしっかり進めていきたい」と述べた。(時事通信2018/10/09-12:29)

産経新聞 2018.10.9 21:06 更新

## 自民党の吉田参院幹事長「内閣支持率は全員野球の精神で必ず上がる」



吉田博美参院幹事長 (佐藤徳昭撮影)

自民党の吉田博美参院幹事長は9日の記者会見で、内閣改造後の報道各社世論調査で内閣支持率に上昇傾向が見られないことに関し「誕生時に高くなかった小渕恵三内閣はだんだん上がっていった。『全員野球』の精神でやっていけば、必ず上がる」と述べた。

## 災害時デマ、1割「信じた」＝ネットで拡散、最多は20代一民間調査

北海道地震や大阪北部地震など大規模災害に際し、インターネット上で広がるデマが問題となる中、災害時のデマを信じた経験を持つ人が9.4%に上ることが9日、民間企業の意識調査で分かった。

調査は、インターネット接続大手ビッグロブ(東京都

品川区)が8月、スマートフォンを持つ20～60代の男女1000人を対象に行った。

災害時にツイッターなどで広がったデマにだまされた経験について、全体の9.4%が「ある」と回答。「ない」は66.4%、「わからない」は24.2%だった。「ある」の最多は20代の14.5%で、最低は60代の4.5%だった。

災害時のデマをどう思うか尋ねたところ、「発信者を特定し取り締まるべきだ」が67.3%に上る一方、「混乱は仕方ない」も26.1%いた。「混乱すれば面白い」(2.9%)、「自分には関係ない」(2.8%)との回答もあった。

同社は「災害時の情報は緊急性が高そうなものが多いが、いったん冷静になり、情報の発信元などを確認してほしい」としている。(時事通信2018/10/09-04:49)

## 「遺志引き継ぐ」＝翁長氏に別れ一沖縄県

那覇市内で9日に営まれた故翁長雄志・前沖縄県知事の県民葬。来場者らは、沖縄の基地負担軽減を訴え続けた翁長氏に最後の別れを告げるとともに、遺志の継承を誓った。

参列した元同県知事の稲嶺恵一さん(84)は、「沖縄の進む方向をはっきりさせた」と翁長氏の功績をたたえた。

1972年の本土復帰以降、保守と革新の対決構図が続いてきた中、2014年の知事選で翁長氏が掲げたキャッチフレーズは「イデオロギーよりアイデンティティー」。稲嶺さんは「翁長さん是对決をなくすために、アイデンティティーで一本化させた。翁長さんの遺志が日本全体に通じることを心から願っている」と語った。

「遺志を引き継いで頑張っていくと伝えた」と話すのは前名護市長の稲嶺進さん(73)。在任中は翁長氏と訪米し、米軍普天間飛行場(宜野湾市)の名護市辺野古移設計画を見直すよう米側に訴えてきた。「翁長さんの強い意志というのを感じた。非常に頼もしかった」と振り返り、故人をしのんだ。(時事通信2018/10/09-19:05)

## 「沖縄の民意訴え続けた」＝翁長前知事しのび県民葬



8月に亡くなった翁長雄志前沖縄県知事をしのび、県民葬で献花を行う参列者＝9日午後、那覇市の県立武道館

8月に死去した沖縄県の翁長雄志前知事の県民葬が9日、那覇市の県立武道館で営まれ、約3000人が参列した。実行委員長の玉城デニー知事は、米軍普天間飛行場(宜野湾市)の名護市辺野古への移設反対を掲げた故人について

「国と対峙(たいじ)しながら沖縄の民意を強く訴え続け、多くの県民の共感を得た」とたたえた。

実行委員会は県や県議会などで構成。祭壇には沖縄の青い海をイメージした花が飾られた。



沖縄県の翁長雄志前知事の県民葬で式辞を述べる玉城デニー知事＝9日午後、那覇市の県立武道館（代表撮影）

玉城氏は式辞で「遺志を引き継ぎ、子どもたちや若者に平和で豊かな誇りある沖縄を託せるよう、一丸となって努力し続ける」と表明した。

菅義偉官房長官は安倍晋三首相の追悼の辞を代読。「命懸けで沖縄の発展のために尽くしてきた功績に心から敬意を表する」と述べる一方、基地負担軽減に関し、「できることは全て行い、目に見える形で実現する」と強調した。一般参列者からは「民意を尊重して」とのやじが相次いだ。

友人代表は、かつて「オール沖縄会議」の共同代表として故人を支えた企業経営の呉屋守将氏。「辺野古新基地をめぐる心労があなたの体を徐々にむしばんだと思うと、本当に申し訳ない」とわびた。（時事通信 2018/10/09-18:35）

玉城知事、辺野古反対の路線継承 翁長氏の沖縄県民葬で  
共同通信 2018/10/9 20:16



翁長雄志前沖縄県知事の県民葬が営まれ、大勢の県民らが献花に訪れた＝9日午後、那覇市

米軍普天間飛行場（沖縄県宜野湾市）の名護市辺野古移設反対を訴え、8月に膵がんのため67歳で死去した翁長雄志前沖縄県知事の県民葬が9日、那覇市で営まれた。玉城デニー知事は式辞で「(翁長氏は)新基地の阻止に取り組み、沖縄の民意を訴え続け多くの共感を得た。県民は遺志を引き継ぐ」と述べ、辺野古反対の路線継承を改めて表明した。安倍晋三首相は、沖縄の基地負担軽減に意欲を示すメッセ

ージを寄せた。

玉城氏は県民葬の後、宮腰光寛沖縄北方相と県庁で会話し、辺野古移設に反対する考えを表明した。普天間飛行場の県外移設と早期返還、日米地位協定の見直しなどを求める要望書も手渡した。

沖縄で県民葬、翁長前知事悼む 官房長官も参列  
朝日新聞デジタル 2018年10月10日 05時00分

故翁長雄志 元沖縄県知事 県民葬



翁長雄志前知事の  
県民葬＝9日午後、那覇市

8月に急逝した沖縄県の翁長雄志（おながたけし）前知事の県民葬が9日、那覇市で営まれた。県民や菅義偉官房長官、衆参両院議長ら計約3千人が参列し、任期途中での死を悼んだ。基地問題で対立を続けた菅氏のあいさつに対しては参列者から「帰れ」などと怒声が上がった。

県民葬は県や県議会などの主催。翁長氏の後継…

追悼の辞代読、菅氏に「うそつき」翁長氏県民葬  
読売新聞 2018年10月09日 21時29分



翁長（おなが）雄志前沖縄県知事の県民葬で、安倍首相の追悼の辞を代読する菅官房長官（9日午後2時26分、那覇市で）＝代表撮影



大勢の県民らが出席して行われた翁長前沖縄県知事の県民葬（9日午後2時19分、那覇市の県立武道館で）＝田中勝美撮影

沖縄県知事在任中の8月8日に67歳で急逝した  
**おながたけし**

翁長雄志氏の県民葬が9日、那覇市の県立武道館で行われた。9月の知事選で翁長氏の後継として初当選した玉城デニー知事や、菅官房長官、宮腰沖繩相ら政府関係者のほか、一般の県民ら約3000人が参列した。

県民葬の実行委員長を務めた玉城氏は式辞で、翁長氏が米軍普天間飛行場（宜野湾市）の名護市辺野古への移設反

### たいじ

対を掲げたことに触れ、「国と対峙しながらも沖縄の民意を強く訴え続け、多くの県民の共感を得ました」と振り返った。

菅氏は、安倍首相の追悼の辞を代読。「基地負担の軽減に向けて一つ一つ確実に結果を出していく決意だ。県民の気持ちに寄り添いながら沖縄の振興・発展に全力を尽くす」と読み上げた。会場からは「うそつき」「帰れ」などの声が上がった。菅氏は会場で玉城氏とあいさつを交わした。宮腰沖繩相も9日夕、沖縄県庁で玉城氏と会談した。

**沖縄前知事県民葬 玉城知事「翁長さんの思い 胸に刻む」**  
毎日新聞 2018年10月9日 21時56分(最終更新 10月9日 23時14分)



安倍晋三内閣総理大臣の追悼の辞を代読する菅義偉官房長官＝沖縄県那覇市の県立武道館で2018年10月9日午後2時26分（代表撮影）

8月8日に膵（すい）がんのため67歳で亡くなった翁長雄志（おながたけし）前沖縄県知事の県民葬が9日、那覇市の県立武道館で営まれた。9月30日の知事選で翁長さんの後継として初当選した玉城（たまき）デニー知事や菅義偉官房長官ら約3000人が参列。米軍普天間飛行場（沖縄県宜野湾市）の名護市辺野古への県内移設計画に異を唱え続け、沖縄の米軍基地負担の軽減に向けて力を尽くした翁長さんの冥福を祈った。

翁長さんは那覇市議や県議を経て、2000年から那覇市長を4期務めた。14年11月の知事選で辺野古移設反対を掲げ、保守と革新が共闘する「オール沖縄」態勢で初当選。知事就任後は移設を強行する政府と激しく対峙（たいじ）した。

県民葬で実行委員長の玉城知事は「翁長さんは、県民が自ら持ってきたわけではない基地を挟んで経済か平和かと二者択一を迫られてきた沖縄の現状に終止符を打つため、

イデオロギーよりアイデンティティーを大切にしていこうと訴えた。その思いは私たちの胸の奥に強く刻まれている」と式辞を述べた。

菅官房長官は安倍晋三首相の追悼の言葉を代読し、「翁長前知事は沖縄に基地が集中する状況を打開しなくてはならないという強い思いを持っていた。現状は到底是認できず、基地負担の軽減に向けて確実に結果を出していく」と述べた。だが、移設を進める政権への反発は強く、参列者から「うそつき」「帰れ」と怒号が飛んだ。

玉城知事が就任後、菅官房長官と顔を合わせるのは初めてだが、会場で長く言葉を交わす場面はなかった。

保守系経済人として支えた県内小売り・建設大手「金秀グループ」の呉屋守将（ごやもりまさ）会長も友人代表としてあいさつし、「あなたの遺志を受け継ぐ新たな知事が誕生した。厳しい状況は続くが、県民は思いをしっかりと受け止め歩んでいく」と遺影に語りかけた。【遠藤孝康】

**沖縄知事県民葬 「翁長さん目指した大きな木に」式辞全文**

毎日新聞 2018年10月9日 20時39分(最終更新 10月9日 21時51分)



県民葬で式辞を述べる沖縄県の玉城デニー知事＝沖縄県那覇市の県立武道館で2018年10月9日午後2時24分（代表撮影）

8月8日に膵（すい）がんのため67歳で亡くなった翁長雄志（おながたけし）前沖縄県知事の県民葬で、後継として初当選した玉城（たまき）デニー知事が行った式辞全文は以下の通り。

本日、菅義偉内閣官房長官をはじめ、ご来賓の方々のご臨席を賜り、ご遺族並びに県民多数のご列席を得て、ここに故翁長雄志元沖縄県知事の県民葬を執り行うに当たり、145万県民に代わり謹んで哀悼の意を表します。

生ある者は必ず滅するとは申しましても、この度の突然の訃報に、私たち県民一同、いまだに信じられない気持ちであります。

まだ67歳とお若く、県知事として更なるご活躍が期待されていた翁長雄志さんを、今ここに御霊(みたま)としてお迎えしなければならなかったことは、誠に残念でありません。

『芯や天冠(ていんか)みてい、枝(いだ)や國廣(くにひろ)にふいる)ぎ、根(ね)ふいじ)や地(ぢ)の底(すく)に、果ていん無(ねえ)らむ』

「幹は天にも達し、枝は国中に広がり、根は地の底に果てしなく張り巡らされている」

生前、翁長雄志さんは、毎朝、知事公舎にあるガジュマルの木の前で、根元に置かれた陶板に刻まれたこの琉歌を口ずさみながら、深呼吸することを日課とされていました。

「この琉歌の木のように、誇りある豊かな沖縄にしたい。そして、自分自身も、この木のような存在でありたい」。そう、胸に刻みながら、県庁に向かわれていました。

翁長雄志さん。あなたは本当に、この木のように大きな、大きな存在でした。

翁長雄志さんは、終戦から5年後の昭和25年に、旧真和志村、現在的那覇市大道でお生まれになりました。元真和志村長の翁長助静(じよせい)氏を父に持ち、兄の助裕(すけひろ)氏も県議会議員を務めるなど、政治家一家に育ったこともあって、幼い頃から政治家になることを志し、那覇市議会議員に初当選した昭和60年から、本格的に政治の道を歩み始めました。

那覇市議会議員、県議会議員を歴任された後、那覇市長として14年間、市民との対話を重視し、人と人が支え合う「協働のまちづくり」にご尽力なされました。

また、市長在任中、沖縄の歴史認識にかかわる教科書検定問題など、沖縄が断じて容認できないことについては、県民の心をつなげて国に訴えるため、多くの県民が参加した県民大会の先頭に立たれました。

私も国会議員として参加したオスプレイの配備撤回を求める東京要請行動においては、沖縄県内の全ての市町村長と議会議長をはじめ、超党派の沖縄選出国会議員、県議会議員が参加しました。これらのオール沖縄の取り組みは、翁長雄志さんがいなければ、実現することはなかったでしょう。

その後、沖縄県知事に就任してからは、「経済」「幸せ」「平和」の三つの視点から、沖縄の未来を切りひらくためのさまざまな取り組みを行いました。

基地問題では、辺野古に新基地を造らせないことを県政運営の柱に掲げ、埋め立て承認の取り消しなど、あらゆる手法を駆使して新基地建設の阻止に取り組み、国と対峙(たいじ)しながらも沖縄の民意を強く訴え続け、多くの県民の共感を得ました。

一方で、米国や国連に足を運び、沖縄に米軍基地が集中している現状を国際社会に訴えるとともに、全国知事会を通じて日米地位協定の改定を国に求めるなど、基地負担の

軽減にご尽力なさいました。

また、沖縄振興基本方針にもあるように、沖縄はアジア・太平洋地域への玄関口として大きな潜在力を秘めており、沖縄の持つ潜在力を存分に引き出すことが、日本再生の原動力となることから、「沖縄県アジア経済戦略構想推進計画」を策定し、アジアのダイナミズムを取り込むことで、入域観光客数の大幅な増加や、完全失業率及び有効求人倍率の改善など、経済面でも多くの成果を挙げました。

さらに、「沖縄子どもの未来県民会議」を設立するなど、貧困の連鎖を断ち切るのは大人の責任であるとして、子どもの貧困問題の解消に心血を注がれました。

翁長雄志さんは、沖縄県民が自ら持ってきたわけではない「基地」を挟んで、「経済」か「平和」かと、常に厳しい二者択一を迫られてきた沖縄の現状に終止符を打ち、県民が心をつなげてさまざまな困難を乗り越えるため、イデオロギーよりアイデンティティーを大切にしていこうと訴え続けました。

そして、県民一人一人が誇りある豊かさを手に入れることを真剣に考え続けていました。

その強い思いは、私たちの胸の奥に、強く刻まれています。

沖縄は、今まさに、東アジアの中心として世界に枝を広げ、人々を魅了してやまない伝統文化と多様な個性が輝く場所として根を張ろうとしており、翁長雄志さんの目指した大きな木になるため、一步一步着実に発展を続けています。

我々沖縄県民は、翁長雄志さんの遺志を引き継いで、ウヤファーフジ(祖先)を敬い、自然を愛し、他者の痛みを寄り添うチムグクル(真心)をもって自立と共生の沖縄を創りあげ、生まれてくる子どもたち、明日を担う若者たちに、平和で豊かな誇りある沖縄を託せるよう、一丸となって努力し続けることをお誓い申し上げ、式辞といたします。

うまんちゅぬちやーが ちばとーみしゅーるしがた みーまんとーてい くいみそーり(沖縄県民が頑張っている姿を見守っていてください)

平成30年10月9日

県民葬実行委員会委員長

沖縄県知事 玉城デニー

## 翁長氏を追悼 沖縄で県民葬

日経新聞 2018/10/9 14:58 (2018/10/9 20:15 更新)

米軍普天間基地(沖縄県宜野湾市)の名護市辺野古移設反対を訴え、8月に膵がんのため67歳で死去した翁長雄志前沖縄県知事の県民葬が9日、那覇市で営まれた。玉城デニー知事は式辞で「(翁長氏は)新基地の阻止に取り組み、沖縄の民意を訴え続け多くの共感を得た。県民は遺志を引き継ぐ」と述べ、辺野古反対の路線継承を改めて表明した。安倍晋三首相は、沖縄の基地負担軽減に意欲を示すメッセ

ージを寄せた。



翁長雄志前沖縄県知事の県民葬が営まれ、大勢の県民らが献花に訪れた（9日午後、那覇市）＝共同

玉城氏は県民葬の後、宮腰光寛沖縄北方相と県庁で会談し、辺野古移設に反対する考えを表明した。普天間基地の県外移設と早期返還、日米地位協定の抜本的な見直しや輸送機オスプレイの配備撤回を求める要望書も手渡した。知事就任以来、安倍内閣の閣僚と会うのは今回が初めて。宮腰氏は「しっかり受け止め、事務方で検討させたい」と応じた。県民葬で玉城氏は、新基地阻止に向けた翁長氏の姿勢について「あらゆる手法を駆使した」と指摘し「沖縄に米軍基地が集中している現状を国際社会に訴え、日米地位協定の改定を求めるなど、負担軽減に尽力した」と功績をたたえた。

首相メッセージは、菅義偉官房長官が代読した。「基地負担の軽減に向けて、一つ一つ確実に結果を出す決意だ。県民の気持ちに寄り添い、振興、発展のために全力を尽くす」と表明した上で、「沖縄が大きな負担を担っている現状は到底是認できない」とした。「できることは全て行う、目に見える形で実現する」との政府方針も明らかにした。翁長氏と政府の間では、辺野古移設を巡り激しい対立が続いた。翁長氏の路線継承を掲げて当選した玉城氏に政府がどう対応していくのかが注目される。玉城氏は今週中にも政府高官らとの会談を希望しており、最初の試金石となりそうだ。翁長氏は、保守と革新の壁を越えて辺野古移設に反対する政治勢力「オール沖縄」の立役者。反対運動の象徴的存在で、国と法廷闘争を繰り返すなど、対立姿勢を貫いた。

県民葬には衆参両院議長や政党幹部らも参列し、3千人以上が別れを惜しんだ。〔共同〕

産経新聞 2018.10.9 20:48 更新

翁長前沖縄県知事の県民葬 玉城知事は「県民は遺志を継ぐ」 菅長官に「帰れ」「嘘つき」のやじも



翁長雄志前沖縄県知事の県民葬で式辞

を述べる玉城デニー知事＝9日午後、那覇市（代表撮影）  
8月に死去した翁長雄志前沖縄県知事の県民葬が9日、那覇市の県立武道館で行われた。玉城デニー知事は式辞で、翁長氏が米軍普天間飛行場（宜野湾市）の名護市辺野古移設に反対したことについて「新基地建設の阻止に取り組み、国と対峙しながら沖縄の民意を強く訴え、多くの共感を得た。県民は遺志を引き継ぐ」と述べた。

県は安倍晋三首相を招待したが、外交日程のため欠席し、菅義偉官房長官が代理出席した。翁長氏の遺族のほか、衆参両院議長や宮腰光寛沖縄北方担当相も参列した。

首相の式辞を代読した菅氏が「基地負担の軽減に向けて一つ一つ確実に結果を出していく決意だ」と述べると、一般参列者から「嘘つき」「帰れ。来なくていいよ、お前は」などとやじが相次いだ。

県民葬終了後、稲嶺恵一元知事は記者団に「悼む場というのは非常に静粛であるべきだが、やむにやまれぬ思いの人たちの気持ちも分かる」と述べた。自民党県連副会長の照屋守之県議は「非常に残念だ。国も沖縄の問題を解決したいということで、翁長知事と一緒にやってきた」と語った。

## 沖縄 翁長前知事の県民葬 約3000人が別れ惜しむ

NHK2018年10月9日 17時49分



沖縄の基地負担の軽減を訴え続け、8月に死去した沖縄県の翁長雄志前知事の県民葬が9日、那覇市で行われ、玉城知事や菅官房長官ら、およそ3000人が参列して、生前の功績をたたえ、別れを惜しみました。

ことし8月、すい臓がんのため67歳で死去した翁長前知事は、アメリカ軍普天間基地の名護市辺野古への移設阻止を県政の最重要課題に掲げるなど、沖縄の基地負担の軽減を訴え続けてきたほか、子どもの貧困対策などに取り組みました。

こうした翁長前知事の功績をたたえるため、県民葬が9日、那覇市で行われ、およそ3000人が参列しました。

この中で、先の沖縄県知事選挙で当選した玉城知事が「翁長さんは名護市辺野古に新基地は造らせないことを県政運営の柱に掲げ、国と対峙しながらも沖縄の民意を強く訴え、多くの県民の共感を得た。われわれ沖縄県民は、遺志を引き継ぎ、若者たちに平和で豊かな誇りある沖縄を託せるよう努力し続ける」と式辞を述べました。

続いて、菅官房長官が安倍総理大臣の追悼の辞を代読し、「翁長前知事は、文字どおり命懸けで沖縄の発展に尽くされ、ご功績に心から敬意を表する。政府としても基地負担軽減に向けて一つ一つ確実に結果を出していく決意だ」と述べました。

一方、この間、複数の参列者から「帰れ」などのヤジが上がり、一時騒然となりました。

そして、長男の雄一郎さんが「残念ながら病に倒れはしたが、家族には常々『人生に悔いはない』と言い続けていた。父が生涯を悔いなく走り続けることができたのは、関わってくださったすべての皆様のおかげです」と謝辞を述べました。

このあとに行われた献花では、一般の参列者が長い列を作り別れを惜しんでいました。

稲嶺元知事「思いありすぎる」

稲嶺恵一元県知事は「翁長さんへの思いはあります。翁長さんは保守を貫きながら、基地問題は沖縄だけの課題でないと訴え続けて亡くなられた。立派だったがつらい人生でもあったと考えると万感の思いだ。日本全体に翁長さんの思いが通じることを心から祈っています」と話していました。

また、菅官房長官が「沖縄へのこれ以上の基地負担は是認できない」とする追悼の言葉を述べたことについて「私が知事のころは、沖縄のことを考えてくださる政治家はたくさんいたが、時代の流れが変わってきた。沖縄としては、これからの1つの大きな課題として、もっと強く訴え続けることが大変重要だと思います」と話していました。

元那覇市幹部「市民の望み絶えず考えていた」

翁長前知事が那覇市長を務めていた時に新しく設置した「市長公室」の公室長や総務部長を歴任した宮里千里さん(68)は「市民が何を望んでいるかを絶えず考えている人でしたし、県都の市長として、沖縄をまとめたいと当時から思っている人でした。基地問題の解決など、翁長さんのやりたいことは多くの人が関わらないとできないことなので、県民の1人としてやっていきたい」と話していました。また、翁長前知事が自民党県連の幹事長だった際に、県連会長だった稲嶺県政の元副知事、嘉数昇明さん(76)は「高校の同窓生でもあり、政治家としても苦楽をともにした人だった。私もそうだったが、彼も中央の下請けではない、地元根ざした政治家であろうとし続けた」と話していました。

元学徒 中山きくさん「平和な沖縄を」

翁長前知事の県民葬に参列した沖縄戦の体験者で、「白梅学徒隊」の元学徒の中山きくさんは「翁長前知事の政治姿勢に同調していたからとても残念です。翁長知事がおっしゃるように、県民が思いを1つにして安心安全で平和な沖縄を作っていかなければとしみじみ強く思いました。私ももう年ですが、やっぱり自分の思うことを伝えなければと、

つえをついて3本足で頑張っています。目標100までと、きょう翁長知事に誓いました」と話していました。

県民の反応は

県民葬の会場の外には会場内を映すモニター画面と、およそ500の座席が用意されましたが、すぐに満席となり、少なくとも200人を超える人は、立ち見でモニター画面を通して、県民葬の様子を見ていました。

このうち、小学生と中学生の息子を連れて来た那覇市の50代の母親は「沖縄のために尽くした翁長さんに敬意を表したいと思って来ました」と涙ながらに話していました。

また、南城市から来た60代の男性は「保守・革新を超えて県政を運営した翁長さんは、道半ばで残念だったと思いますが、その思いは私たちが引き継ぎたいです」と話していました。

このほか、5か月の娘を抱いて参列した30代の女性は、翁長さんと同じ那覇市の大道地区で生まれ育ちました。「那覇市長時代から応援していた偉大な政治家で、誇りでした」と話していました。

## 翁長前知事の県民葬で基地負担軽減の考えを強調 菅官房長官

NHK2018年10月9日 16時21分



菅官房長官は那覇市で開かれた沖縄県の翁長前知事の県民葬で、安倍総理大臣の追悼の辞を代読し、これまでの功績に敬意を表したうえで、引き続き沖縄の基地負担の軽減に努める考えを強調しました。



菅官房長官は9日、那覇市を訪れ、ことし8月に死去した翁長雄志前知事の県民葬に参列し、安倍総理大臣の追悼の辞を代読しました。

この中で菅官房長官は、これまでの功績に敬意を表したうえで、「翁長前知事は沖縄に基地が集中する状況を打開しなければならぬという強い思いをお持ちだった。沖縄県に大きな負担を担って頂いている現状は、到底、是認できるものではない」と述べました。

そして、「『何としても変えていく。できることはすべて行

う。目に見える形で実現する』という方針のもと、基地負担の軽減に向けて、一つ一つ確実に結果を出していく決意だ」と述べ、引き続き、基地負担の軽減に努める考えを強調しました。

共産 志位委員長「偉大なリーダー」

共産党の志位委員長は、那覇市で開かれた沖縄県の翁長前知事の県民葬に参列したあと、記者団に対し、「4年間、1ミリもぶれなかった姿勢に心から敬意を持っており、『偉大なリーダーだ』という思いを強くした。先の知事選挙で、辺野古の基地問題が争点になり、『ノー』という審判と普天間基地の即時閉鎖・撤去という民意が出た。民意を受け止め、対米交渉をやるのが政府の責任で、これまでの問答無用の態度を改め、真摯（しんし）に県民の審判に向き合う必要がある」と述べました。

### 「遺志を継ぐ」 県民葬前に翁長さん悼み黙とう 辺野古キャンプシュワブ前

琉球新報 2018年10月9日 12:15



県民葬の前に、翁長雄志さんの死を悼んで黙とうする市民＝9日午前11時すぎ、名護市辺野古

【辺野古問題取材班】翁長雄志前知事の県民葬が開かれる9日、名護市辺野古の米軍キャンプ・シュワブのゲート前には午前中から約50人の市民が集まり、翁長さんに黙とうをささげると同時に、翁長さんの遺志である辺野古新基地建設阻止に向け、抗議行動を続けていくことを誓った。

午前8時に始まった抗議集会では、ゲート前の歩道に設置されたフェンスと車道の細い空間に並んだ市民が黙とうをささげるなどして改めて翁長さんの死を悼んだ。午前11時すぎには那覇市から駆け付けた市民も一緒になり、ゲート前のテントで再び黙とうをささげた。平和センター九州ブロックのメンバーら25人も参加した。市民らは「新基地建設をやめろ」「沖縄を返せ」などと声を上げた。

抗議集会であいさつした沖縄平和運動センターの山城博治議長は「県民同士が対立させられ、日本政府が後ろで高笑いしている。『ウチナンチュとして団結しよう』と訴えた翁長さんの遺志を引き継ごう」と呼び掛けた。

平和センター九州ブロックの前海満広さん(63)は『イデオロギーよりアイデンティティーを』と団結して呼び掛

けた翁長さんの言葉に共鳴した。沖縄の人と連携してこれからも新基地建設に反対していきたい」と話した。

テントは台風24、25号の影響で一部破損したため、市民らが補修していた。ゲートから資材の搬入や海上での作業などは確認されなかった。【琉球新報電子版】

### 「誇りある沖縄」継承誓う 翁長前知事の県民葬、3000人が最後の別れ

琉球新報 2018年10月10日 05:00



主催者発表で3千人が参列した翁長雄志前沖縄県知事の県民葬＝9日、那覇市の県立武道館

沖縄の米軍基地問題の解決を全国に訴え、振興政策や福祉の向上にも尽力した翁長雄志前沖縄県知事＝享年67＝の県民葬（県などの実行委員会主催）が9日午後、那覇市の県立武道館で営まれた。主催者発表で3千人が参列。米軍普天間飛行場移設に伴う名護市辺野古の新基地建設阻止の公約を貫き、在任中の今年8月に急逝した翁長氏との最後の別れを惜しんだ。実行委員長の玉城デニー知事が「県民は翁長雄志さんの遺志を引き継ぐ」との式辞を述べ、「平和で豊かな誇りある沖縄」の県づくりの継承を誓った。

県民葬には政府から菅義偉官房長官が出席し、安倍晋三首相の弔辞を代読した。菅氏は、沖縄の過重な基地負担を全国に訴えてきた翁長氏の政治姿勢に触れ「政府としても基地負担の軽減へ向け一つ一つ結果を出していく」と述べた。米軍普天間飛行場の名護市辺野古移設を推進し、翁長県政と激しく対立してきた菅氏のあいさつに対し、一般参列者席からやじが飛び、騒然となる場面もあった。

会場の県立武道館アリーナには招待者、一般参加者合わせて2400席が用意されたが、会場に入りきれない多くの一般参列者が外の仮設テントで式典の中継映像を見守った。式典では玉城知事の先導で、翁長前知事の妻樹子さん、長男雄一郎さんが遺影と遺骨を持って入場。参列者全員で黙とうをささげた。

城間幹子那覇市長、石嶺伝一郎県経済団体会議議長、友人代表の呉屋守将金秀グループ会長も弔辞をささげた。

沖縄県民葬は屋良朝苗、西銘順治、大田昌秀の歴代知事に続いて4回目となった。県と県議会、県市長会、県町村長会、県経済団体会議など8団体で構成する実行委員会形式で開催した。

## 「闘う知事」との別れ惜しむ 翁長雄志さん沖縄県民葬に3000人

沖縄タイムス 2018年10月10日 06:23

沖縄県議や那覇市長、知事を歴任した故翁長雄志さん(享年67)の県民葬が9日、那覇市奥武山の県立武道館で行われた。県内外から約3千人が参列し、名護市辺野古の新基地建設反対を掲げ、全国に沖縄の基地負担軽減を求め、政府と向き合った「闘う知事」との別れを惜しんだ。実行委員長の玉城デニー知事は式辞で、沖縄の民意を強く訴え続けた姿は「多くの県民の共感を得た」とたたえた。



約3000人が参列した翁長雄志前知事の県民葬＝9日午後2時すぎ、那覇市・県立武道館

玉城知事は翁長さんが毎朝口ずさんでいた琉歌を披露。「芯や天冠みてい、枝や國廣ぎ、根や地の底に、果ていん無らむ」。幹は天に達し、枝は国中に広がり、根は地の底に張り巡らされるという沖縄の将来像を読んだと説明、「翁長雄志さん。あなたは、この木のように大きな大きな存在でした」と述べた。

失業率や有効求人倍率の改善など経済面での成果をあげたや、子どもの貧困問題の解決に心血を注いだことも取り上げ、「若者たちに平和で豊かな誇りある沖縄を託せるよう、一丸となって努力し続ける」と遺志を継ぐ決意を示した。

菅義偉官房長官は安倍晋三首相の追悼の辞を代読し、「沖縄に大きな負担を担っていただいていることは到底是認できない。政府として基地負担軽減に向け、一つずつ成果を出す」と語った。菅氏が読み終える前から、会場の四方八方から「うそつき」「いつまで沖縄に基地を押しつけるんだ」といった批判や抗議の声が相次いだ。

祭壇には知事時代の翁長さんの笑顔の写真が掲げられ、青い海に穏やかな波が駆ける様子を青と白の花々で表現した。翁長さんの妻樹子さんや長男雄一郎さんは遺影と遺骨を手に入場し、一般献花が終わるまで見守り、来場者に感謝の意を伝えた。

衆参両院議長や沖縄担当相も出席。城間幹子那覇市長、石嶺伝一郎県経済団体会議議長、友人代表の呉屋守将金秀グループ会長が追悼の辞を述べた。県民葬は屋良朝苗氏、西銘順治氏、大田昌秀氏に次ぎ4回目。

## 翁長前知事に最後の別れ 沖縄県民葬に内外から参列菅長官に抗議の声も

沖縄タイムス 2018年10月9日 14:49

沖縄県議や那覇市長を歴任し、知事在任中に腓臓(すいぞう)がんで亡くなった故翁長雄志さん(享年67)の県民葬が9日午後2時から、那覇市奥武山の県立武道館で執り行われた。県内外から多くの参列者が、最後の別れに訪れた。実行委員長の玉城デニー知事は式辞で「若者たちに平和で豊かな誇りある沖縄を託せるよう、一丸となって努力し続ける」と誓った。



翁長雄志前知事の県民葬で式辞を述べる玉城デニー知事＝9日午後2時20分、那覇市・県立武道館

菅義偉官房長官が安倍晋三首相の追悼の辞を代読し、沖縄の基地負担軽減に取り組む決意を示した際、参列者から「うそつき」「いつまで沖縄に基地負担を押しつけるんだ」などと批判や抗議の声が相次いだ。

菅氏は「翁長知事は文字通り命懸けで沖縄の発展に尽くされた」と功績に敬意を表した。さらに、翁長さんが沖縄に米軍基地が集中する状況を打破しようと力を注いだことに理解を示し「沖縄に大きな負担を担っていただいていることは到底是認できない。政府として基地負担軽減に向け、一つずつ成果を出す」と語った。

翁長さんが沖縄に米軍基地が集中することの不条理を全国に訴え続けた一方、沖縄の基地負担は軽減するどころか、沖縄が反対の民意を示しても名護市辺野古での新基地建設を強行しているというのが実感だ。

菅氏が追悼の辞を読み終える前から、会場の四方八方から「うそつき」といった声が相次いだ。

県民葬の祭壇では知事時代の翁長さんの笑顔の写真が掲げられ、青い海に穏やかな波が駆ける様子を青と白の花々で表現した。

妻樹子さんや長男雄一郎さんらが遺影と遺骨を手に入場。県立芸大音楽学部の学生が沖縄県民の歌を合唱した。

玉城知事は翁長さんが毎朝口ずさんでいた琉歌を披露。「芯や天冠みてい、枝や國廣ぎ、根や地の底に、果ていん無らむ」。幹は天にも達し、枝は国中に広がり、根は地の底に張り巡らされているという意味を紹介し、「翁長雄志さん、

あなたは本当に、この木のように大きな大きな存在でした」とたたえた。

大島理森衆院議長、伊達忠一参院議長らも出席。城間幹子那覇市長、石嶺伝一郎県経済団体会議議長、友人代表で金秀グループの呉屋守将会長らが追悼の辞を述べた。県民葬は屋良朝苗氏、西銘順治氏、大田昌秀氏に次ぎ4回目。

### 翁長前知事県民葬：安倍首相が追悼の辞 代読・菅官房長官

沖縄タイムス 2018年10月10日 06:28

翁長前知事とは知事就任以前から、折に触れ、沖縄の発展について意見を交換してきた。沖縄の振興、発展に対する真摯（しんし）な思い、平和を希求する心が原点だったと推察している。文字通り、命懸けで沖縄の発展のために尽くされた。



安倍晋三内閣総理大臣の追悼の辞を代読する菅義偉官房長官＝9日、那覇市・県立武道館（代表撮影）

翁長前知事は、沖縄に基地が集中する状況を打開しなければならないという強い思いをお持ちだった。沖縄県に大きな負担を担っていただいている現状は到底是認できない。

政府としてもできることはすべて行う。目に見える形で実現するという方針の下、基地負担の軽減に向けて一つ一つ確実に結果を出していく決意である。

そして、これからも県民の皆さんの気持ちに寄り添いながら、沖縄の振興、発展のために全力を尽くす。

沖縄の発展にご尽力された翁長前知事の功績をしのびつつ、あらためてご冥福をお祈りする。

### 玉城知事、辺野古反対の路線継承 翁長氏の沖縄県民葬で

琉球新報 2018年10月9日 20:16



翁長雄志前沖縄県知事の県民葬が営まれ、大勢の県民らが献花に訪れた＝9日午後、那覇市

米軍普天間飛行場（沖縄県宜野湾市）の名護市辺野古移設反対を訴え、8月に膵がんのため67歳で死去した翁長雄志前沖縄県知事の県民葬が9日、那覇市で営まれた。玉城デニー知事は式辞で「（翁長氏は）新基地の阻止に取り組み、沖縄の民意を訴え続け多くの共感を得た。県民は遺志を引き継ぐ」と述べ、辺野古反対の路線継承を改めて表明した。安倍晋三首相は、沖縄の基地負担軽減に意欲を示すメッセージを寄せた。

玉城氏は県民葬の後、宮腰光寛沖縄北方相と県庁で会談し、辺野古移設に反対する考えを表明した。普天間飛行場の県外移設と早期返還、日米地位協定の見直しなどを求める要望書も手渡した。

### 翁長雄志前知事県民葬 玉城デニー知事の式辞【全文】

琉球新報 2018年10月9日 14:40

本日、菅義偉内閣官房長官をはじめ、御来賓の方々のご臨席を賜り、御遺族ならびに県民多数のご列席を得て、ここに故翁長雄志元沖縄県知事の県民葬を執り行うに当たり、145万県民に代わり謹んで哀悼の意を表します。

生ある者は必ず滅するとは申しまして、このたびの突然の卦報に、私たち県民一同、いまだに信じられない気持ちであります。まだ67歳とお若く、県知事としてさらなる御活躍が期待されていた翁長雄志さんを、今ここに御霊としてお迎えしなければならなくなったことは、誠に残念でなりません。

『芯や天冠（ていんか）みてい、枝や國廣（くにひろ）ぎ、根（ふいじ）や地（じ）の底（すく）に、果ていん無（ねえ）らむ（幹は天にも達し、枝は国中に広がり、根は地の底に果てしなく張り巡らされている）』

生前、翁長雄志さんは、毎朝、知事公舎にあるガジュマルの木の前で、根元に置かれた石板に刻まれたこの琉歌を口ずさみながら、深呼吸することを日課とされていました。「この琉歌の木のように、誇りある豊かな沖縄にしたい。そして、自分自身も、この木のような存在でありたい」。そう、胸に刻みながら、県庁に向かわれていました。

翁長雄志さん。あなたは本当に、この木のように大きな、大きな存在でした。

翁長雄志さんは、終戦から5年後の昭和25年に、旧真和志村、現在的那覇市大道でお生まれになりました。元真和志村長の翁長助静氏を父に持ち、兄の助裕氏も県議会議員を務めるなど、政治家一家に育ったこともあって、幼い頃から政治家になることを志し、那覇市議会議員に初当選した昭和60年から、本格的に政治の道を歩み始めました。

那覇市議会議員、県議会議員を歴任された後、那覇市長として14年間、市民との対話を重視し、人と人が支え合う「協働のまちづくり」に御尽力なされました。また、

市長在任中、沖縄の歴史認識に係る教科書検定問題など、沖縄が断じて容認できないことについては、県民の心を一つにして国に訴えるため、多くの県民が参加した県民大会の先頭に立たれました。

私も国会議員として参加したオスプレイの配備撤回を求める東京要請行動においては、沖縄県内の全ての市町村長と議会議長をはじめ、超党派の沖縄選出国會議員、県議會議員が参加しました。これらのオール沖縄の取り組みは、翁長雄志さんがいなければ、実現することはなかったでしょう。

その後、沖縄県知事に就任してからは「経済」「幸せ」「平和」の三つの視点から、沖縄の未来を切りひらくためのさまざまな取り組みを行いました。

基地問題では、辺野古に新基地を造らせないことを県政運営の柱に掲げ、埋め立て承認の取り消しなど、あらゆる手法を駆使して新基地建設の阻止に取り組み、国と対峙しながらも沖縄の民意を強く訴え続け、多くの県民の共感を得ました。

一方で、米国や国連に足を運び、沖縄に米軍基地が集中している現状を国際社会に訴えるとともに、全国知事会を通じて日米地位協定の改定を国に求めるなど、基地負担の軽減にご尽力なさいました。

また、沖縄振興基本方針にもあるように、沖縄はアジア・太平洋地域への玄関口として大きな潜在力を秘めており、沖縄の持つ潜在力を存分に引き出すことが、日本再生の原動力となることから、「沖縄県アジア経済戦略構想推進計画」を策定し、アジアのダイナミズムを取り込むことで、入域観光客数の大幅な増加や、完全失業率および有効求人倍率の改善など、経済面でも多くの成果を挙げました。

さらに、「沖縄子どもの未来県民会議」を設立するなど、貧困の連鎖を断ち切るのは大人の責任であるとして、子どもの貧困問題の解消に心血を注がれました。

翁長雄志さんは、県民が自ら持ってきたわけではない「基地」を挟んで、「経済」か「平和」かと、常に厳しい二者択一を迫られてきた沖縄の現状に終止符を打ち、県民が心を一つにしてさまざまな困難を乗り越えるため、イデオロギーよりアイデンティティーを大切にしていこうと訴え続けました。そして、県民一人ひとりが誇りある豊かさを手に入れることを真剣に考え続けていました。

その強い思いは、私たちの胸の奥に、深く刻まれています。

沖縄は、今まさに、東アジアの中心として世界に枝を広げ、人々を魅了してやまない伝統文化と多様な個性が輝く場所として根を張ろうとしており、翁長雄志さんの目指した大きな木になるため、一步一步着実に発展を続けています。

我々沖縄県民は、翁長雄志さんの遺志を引き継いで、ウヤファーフジを敬い、自然を愛し、他者の痛みに寄り添う

チムグルをもって自立と共生と多様性の沖縄を創りあげ、生まれてくる子どもたち、明日を担う若者たちに、平和で豊かな誇りある沖縄を託せるよう、一丸となって努力し続けることをお誓い申し上げ、式辞といたします。

うまんちゅぬちやーが ちばとーみしえーるしがた み  
一まんとーてい くいみそーりよーさい

## 【深掘り】安倍政権は玉城デニー知事と会うか？ 翁長氏県民葬で菅氏に怒声

沖縄タイムス 2018年10月10日 06:38

沖縄県名護市辺野古の新基地建設の阻止を県政運営の柱に掲げた翁長雄志前知事の9日の県民葬で、新基地建設を推し進めてきた安倍晋三首相の追悼の辞を代読した菅義偉官房長官への怒声が相次いだ。異例の場面は翁長県政と安倍政権のすれ違いを象徴したが、政府は9月の知事選で大勝し県政を継承した玉城デニー新知事に対しては早期の会談を検討。県庁内では政府の“変化”を感じ取る声上がる。

(政経部・銘苺一哲、東京報道部・上地一姫)



那覇市内のホテルを出る菅義偉官房長官(右から2人目)。約30分間にわたって、安慶田光元副知事と会談したとみられる＝9日午後1時25分ごろ

批判は一つまた一つと増え、会場を包んでいた静謐(せいひつ)な雰囲気は切り裂いた。

「沖縄の大きな負担は到底は認認できない。できることはすべて行う。基地負担の軽減に向け確実に結果を出していく」

菅氏が首相の弔辞を読み上げると、参列者の一人が「うそつき」と声を上げ、「いつまで沖縄に基地負担を押しつけるんだ」「帰れ」と怒声が続いた。

「負担軽減」に批判

安倍政権は辺野古新基地や東村高江のヘリパッド建設など、過去の政権よりも基地建設を強行していると県民に映る。辺野古や高江の工事を進めることで20年以上動かなかったSACO最終報告を履行し、普天間飛行場や北部訓練場の返還を進める事が負担軽減につながり、将来的に沖縄の理解を得られるとの考えだ。

政府高官は弔辞で負担軽減に触れた理由を「いつも言っていること。安倍政権は負担軽減に取り組んでいるんだから」と説明する。

ただこうした姿勢は、民意を背に新基地に反対した翁長氏とは最後まで相いれなかった。県幹部は県民葬での政府への批判は主催者として肯定しないものの、「かつて翁長氏

を選んだ県民の声として理解はできるが…」と声を潜める。

「4年前を反省」

一方、政府側は翁長氏が2014年に当選した当時と玉城新知事への対応で変化を見せようとしている。

県民葬で玉城知事と立ち話をした菅氏は、上京した際に会談する意向を県側に伝えた。県幹部は「翁長氏の就任時は会談まで数カ月かかった。政府側の雰囲気が変わっている。知事選で2度大差で民意を示したことが大きい」と分析する。

政府関係者は「4年前は知事選と直後の衆院選で敗れた自民県連の意向があったとはいえ、翁長前知事に会わなかった反省がある」と解説。別の関係者は辺野古を進める方針は変わらないと断言しつつ「知事選で玉城氏が当選し沖縄が過熱している中、会談もせずに埋め立て承認撤回の対抗措置をとればさらに批判される。今回は就任あいさつ。お互いに大人の政治家としての対応だ」と語った。

#### 野党6党派と沖縄県知事 基地問題解決へ連携確認 NHK10月9日 21時05分



野党6党派の国会対策委員長らが9日夜、沖縄県庁で玉城知事と会談し、日米地位協定の見直しなど、沖縄の基地問題の解決に向け、連携して取り組む方針を確認しました。この中で、立憲民主党の辻元国会対策委員長は「沖縄県とわれわれでしっかり連携して、沖縄の課題に取り組んでいきたい」と述べました。

これに対し、玉城知事は「県と国のそれぞれの立場はあるが、『県民の生活が第一』、『国民の生活が第一』という理念は変わっていない」と応じました。

そして、会談では日米地位協定の見直しなど、沖縄の基地問題の解決に向け、連携して取り組む方針を確認しました。辻元氏は記者団に対し「野党6党派の合同ヒアリングに玉城知事にも来てもらって、さまざまな沖縄の課題について意見を聞きたい」と述べました。

#### 国民 玉木代表 地位協定見直しは与野党で改定案を NHK2018年10月9日 20時54分



国民民主党の玉木代表は、沖縄県庁で玉城知事と会談したあと、記者団に対し「基地問題については、国内で民意を形成し、沖縄と日本の考え方をアメリカの国民にも伝えていく努力が必要だということで一致した。日米地位協定の見直しを具体化させるため、与野党で改定案を作り、基地負担の軽減策をまとめていきたい」と述べました。

続きを読む

また、玉木氏は、翁長前知事の県民葬で、菅官房長官が、基地負担の軽減について述べた際、会場からヤジが上がったことに関連し、「知事選挙の結果を受けて、政府としても、沖縄の民意を重く受け止めなければならないということを経験した菅官房長官自身も実感したと思う」と述べました。

#### 沖縄県 玉城知事が担当相と初会談

毎日新聞 2018年10月9日 21時58分(最終更新 10月9日 22時04分)

沖縄県の玉城(たまき)デニー知事は9日、翁長雄志前知事の県民葬に参列した宮腰光寛沖縄・北方担当相と県庁で会談した。4日の就任後、玉城知事が安倍政権の閣僚と会談するのは初めて。

玉城知事は「沖縄振興に精通する方が担当大臣になり、心強い」と述べ、沖縄振興予算の確保や米軍普天間飛行場(同県宜野湾市)の名護市辺野古への県内移設計画の断念などを求める要望書を手渡した。宮腰氏は「要望をしっかりと受け止め、検討したい」と述べた。【遠藤孝康】

#### 宮腰沖縄北方相 玉城知事と会談 沖縄振興の考え伝える NHK2018年10月9日 21時03分



就任後初めて沖縄県を訪れた宮腰沖縄・北方担当大臣は玉城知事と会談し、県側と協力しながら、着実に沖縄の振興を図っていきたいという考えを伝えました。

宮腰沖縄・北方担当大臣は9日、沖縄県を訪れ、アメリカ軍普天間基地などを視察したあと、沖縄県庁で玉城知事と会談しました。

この中で、玉城知事は普天間基地の名護市辺野古への移設計画の断念や、来年度予算案の沖縄振興予算の概算要求を満額確保することなどを求める要望書を手渡しました。

これに対し、宮腰大臣は「要望は持ち帰って検討したい。しっかりと連絡をとって前に進めていきたい」と述べ、県側と協力しながら、着実に沖縄の振興を図っていきたいという考えを伝えました。

一方、翁長前知事の県民葬に出席するため沖縄県を訪れた菅官房長官も、会場で玉城知事と短時間、言葉を交わしま

した。

産経新聞 2018.10.9 21:42 更新

## 【沖縄の選択～「ポスト翁長」時代】(下)「政治の師」の小沢氏介入に警戒



沖縄県知事選期間中に魂魄の塔

を慰霊した自由党の小沢一郎代表（右から2人目）と共産党の志位和夫委員長（同3人目）ら＝9月25日午後、沖縄県糸満市

翁長雄志前沖縄県知事の県民葬が那覇市の県立武道館で行われた9日夜、玉城デニー知事は、県庁で東京からの来客を迎えた。野党各党の国対委員長だ。

玉城氏が幹事長と国対委員長を務めた自由党は所属議員6人の小政党だった。最大野党・立憲民主党の辻元清美氏が、上座に座った玉城氏に「知事はいつもあの辺に座っていた」と末席を指さしても、玉城氏は機嫌を損ねず「そうです。あっちが指定席でした」と笑顔を見せた。

玉城氏が衆院議員を4期務めた間に培った経験と人脈は、翁長氏にはない強みだ。その中でも最大の財産と位置づけるのが、政治行動を共にしてきた自由党の小沢一郎代表との関係だ。

「一番自分の考え方にあった人が小沢一郎さんだった。この人を政治の先生にしようと思った」

玉城氏は、小沢氏の宜野座村の豪華別荘が週刊誌で批判的に取り上げられた後も、小沢氏との関係を隠すどころか誇示した。

玉城氏は、米軍普天間飛行場（宜野湾市）の名護市辺野古移設に反対して当選し、政府との対立が予想される。玉城氏を推した「オール沖縄」系の県議は「政府と県の交渉が難航すれば安倍晋三政権の要人が小沢さんに仲介を頼むかもしれない。だが、辺野古で妥協したらデニーさんから県民の気持ちは離れてしまう」と警戒心を隠さない。振り回されたくない

オール沖縄は玉城氏を翁長氏の後継候補として擁立したが、小沢氏の存在を歓迎していたわけではない。

かつてオール沖縄が玉城氏に出馬表明を急ぐよう求めたのに対し、小沢氏は国政野党幹部への挨拶回りを優先させるよう指示した。出馬表明を2回延期させられ、県議からは「小沢さんに振り回されたくない」と戸惑いの声も上がった。

知事選終盤の9月25日には、小沢氏や共産党の志位和

夫委員長ら野党幹部が、沖縄戦の戦没者を慰霊する「魂魄の塔」（糸満市）で顔をそろえた。小沢氏が野党結束を固めるため合同慰霊を呼びかけたが、まな弟子であるはずの玉城氏の姿はなかった。

玉城陣営は政党色を排除する方針を徹底し、集会では東京から駆け付けた野党幹部を壇上に上げなかった。玉城選対幹部は、小沢氏主導の野党幹部そろい踏みについて「あれは選挙に何の影響もない。中央の都合でしょ」と語った。評価一変「さすが」

選挙戦が終わって、小沢氏の評価は一変している。オール沖縄の保守系県議は「後になって考えれば、さすが小沢さんの判断が正しかった」と語る。野党各党の支持を取り付けたことで、玉城陣営には常に国会議員の秘書約20人が陣取り、企業回りなどにあたったという。陣営幹部は「カネの面でも野党の支援が大きかった」と振り返る。

小沢氏にとっても、玉城氏の当選は天の恵みといえる。かつて権勢を振るった小沢氏の存在感は埋没気味だったが、沖縄県知事選では野党共闘のキーマンに返り咲いた。

魂魄の塔に野党各党の幹部を集めたのも、来年夏の参院選での候補者調整を見据え、連携を演出したい思惑のあらわれだ。とりわけ志位氏への参加呼びかけには、野党支持層にも根強い「共産党アレルギー」を払拭したい意図が透ける。

共産党は平成28年1月、天皇陛下のご臨席などを理由に見送っていた国会の開会式に出席した。志位氏に直談判して開会式出席を促したのは、ほかならぬ小沢氏だ。当時、小沢氏は「これで国民の意識も変わる。このままでいけば共産党の勢いは民主党をしのぐ」と周囲に語っている。

だが、小沢氏が沖縄県政に介入する可能性に関しては、共産党からも冷ややかな声上がる。党県委員会の幹部は、玉城氏が29年の衆院選で自由党公認でなく、無所属で出馬したことに触れ「あれでデニーさんの評価が上がった。小沢さんもそのことは分かっているでしょ」と話した。

◇

この連載は杉本康士、松本学、石鍋圭、大島悠亮、中村智隆が担当しました。

### 加計問題、早期収拾に努める＝二階自民幹事長

自民党の二階俊博幹事長は9日午前の記者会見で、学校法人「加計学園」の獣医学部新設について「(安倍晋三首相と加計孝太郎理事長の面会問題は)2人の話だから、冷静に判断して常識のあるところで結論を出していただければ結構だが、そう長く時間を取るのとは適当でない。じっと待っているだけでなく積極的に相談していきたい」と述べ、党としても早期収拾に努める考えを示した。(時事通信 2018/10/09-12:28)

### 愛媛知事「ふに落ちぬ部分も」＝加計氏会見

愛媛県の中村時広知事は9日、学校法人「加計学園」による同県今治市への獣医学部新設をめぐり、学園の加計孝太郎理事長が7日に開いた記者会見の内容について、「全部ふに落ちたかと言うと、そうでもない」との認識を示した。会見の開催自体は「率直に評価する」と語った。県庁で記者団の取材に応じた。

加計氏は獣医学部問題で2回目となった7日の会見で、愛媛県の国会提出文書に記載された自身と安倍晋三首相の2015年2月25日の面会を重ねて否定。ただ、それを裏付ける根拠は示せず、加計氏が県文書を読んでいないことも分かった。

中村知事は「信頼を高めるにはどうすべきかは、学園自身の判断だ」と指摘。県が学園向けに拠出する補助金の扱いに関しては、現時点で見直さない考えを示した。(時事通信 2018/10/09-17:52)

### 愛媛知事「もやもや感がまだ…」 加計氏の会見受け

朝日新聞デジタル 2018年10月9日 14時31分

学校法人加計学園（岡山市）の加計孝太郎理事長が獣医学部新設問題で2回目の記者会見を開いたことについて、愛媛県の中村時広知事が9日、県庁で報道陣の取材に応じた。加計氏の6月の初会見以降、改めて会見を開いて説明責任を果たすよう求めており、「会見をしたことは率直に評価したい」と述べたが、説明の内容については「もやもや感がまだ残っている。個人的には解消された方がいいかなと思う」と話した。

加計氏は7日、獣医学部がある愛媛県今治市で2回目の記者会見を開いた。県の文書に記された安倍晋三首相との面会を「覚えていないし、記録もない」と改めて否定した。面会がないと成り立たない県文書の記述は複数あるが、加計氏は一連の文書を読まないまま会見に臨んだとし、報道陣から会見のやり直しを求められると「市や県と協議する必要がある」と述べた。

中村知事は報道陣から会見のやり直しについて問われると、「向こうが判断すること」と話した。

### 加計学園 理事長会見 愛媛知事は評価も「国認可説明を」

毎日新聞 2018年10月9日 21時29分(最終更新 10月9日 21時55分)



愛媛県の中村時広知事＝梅村直承撮影

学校法人「加計学園」の獣医学部新設を巡る問題で、加計孝太郎理事長が7日に愛媛県で記者会見したことを受け、同県の中村時広知事は9日、県庁で報道陣の取材に応じた。中村知事は「理事長自ら会見に臨んだことは評価し、県に関しては説明責任は果たされた」とした上で、「国の認可にかかわる問題については、学園の責任で引き続き説明責任を果たすべく汗をかき続けなければいけない」と述べた。

加計氏は、愛媛県作成の文書に記載された2015年2月の安倍晋三首相と加計氏の面会について、従来の「記録にも記憶にもない」と繰り返し、裏付ける証拠は示さなかった。この点、中村知事は「証拠が示せないといつまでももやもや感は払拭（ふっしょく）できない」と述べ、「証拠を見つける努力は続けるべきだ」と指摘。この文書を見ずに会見に臨んだ加計氏の姿勢については「これだけの問題なのだから見ていてしかるべきだ」と批判した。

県は加計学園の学部新設に関連し、多額の補助金支出を決めている。中村知事は「国の認可に基づき学校はスタートしているので、フォローしていく」と話し、支出は従来通り行うとの考えも示した。

7日の会見では理事長の説明が不十分だったため、報道陣から再度の会見を求める声が相次いだ。県として再度会見を求めるかどうかについては「学園の判断」と述べるにとどめた。【花澤葵】

### 愛媛県知事、信頼向上へ更に努力を 腑に落ちない部分も加計氏の記者会見を受け

日経新聞 2018/10/9 15:28

愛媛県の中村時広知事は9日、学校法人「加計学園」の加計孝太郎理事長が7日に記者会見したことを受け、県庁内で記者会見した。加計氏が会見したことについては、県や県議会の要請に応えたものと評価する一方、加計氏と安倍晋三首相の面会は学園事務局長の虚偽報告であるとされる点について「全部腑に落ちたかと言えばそうでもない」と述べた。



愛媛県庁で記者会見する中村時広知事

獣医学部開設に伴う補助金支出の是非については「国の認可が補助金支出の判断の前提」と指摘。国の認可そのものに疑義が生じない以上、補助金の支出には影響が生じないと話した。

学園のマネジメントやコンプライアンスの問題として対処することが重要となっていると指摘。「学園の信頼向上に向

けて、さらに努力を続けてもらいたい」と強調した。加計氏は7日の会見で、県文書に記載された2015年2月の自身と安倍首相との面会を改めて否定したが、「面会がなかったという証明が出ればクリアになるが、それが無いと、もやもやしたものは残る」と述べた。「引き続き、解消する努力が必要」としている。

加計氏は7日の会見の中で、自身と安倍首相が面会したと学園事務局長が県などへ報告したのは「勇み足で誤解を招くようなことを申し上げた」と述べ、その上で「記憶がないので会っていないと思う」と改めて面会を否定した。

**公文書改ざん 自殺・近畿財務局職員の父「真相知りたい」**  
毎日新聞 2018年10月9日 20時00分(最終更新 10月10日 02時50分)



亡くなった長男の遺影を手に語る父親＝岡山県で、林田奈々撮影

学校法人「森友学園」への国有地売却にかかわる部署に所属し、今年3月に自殺した財務省近畿財務局職員の男性(54)の父親(83)＝岡山県＝が毎日新聞の取材に応じた。男性は上司の指示で公文書を改ざんしたことを遺書につづっていたが、背景については依然多くの謎が残る。父親は「真相が知りたい」と願う一方で、「他の仕事をしていたら、こんなことにはならなかったのに」と嘆く。

男性は長男で、岡山で生まれ育ち、高校卒業後に国鉄へ就職した。その後、1987年の国鉄民営化を機に転…

**防衛装備品の価格分析できず 検査院、仕様見直し提言へ**  
共同通信 2018/10/9 13:03/10/9 13:04updated



防衛装備庁が入る防衛省庁舎＝東京都新宿区

防衛装備品を適正価格で調達するため、防衛装備庁が2022年度の導入に向けて試験運用しているシステムを会計検査院が調べた結果、価格の比較やデータの分析ができないことが9日、関係者への取材で分かった。

検査院は、このままではシステムが有効に機能するかどうか検証できず、22年度の導入が困難になる恐れがあるとして、仕様の見直しなどを提言する方針。

政府は、14～18年度の中期防衛力整備計画で、効率的な装備品の取得や適正価格の積算のため、過去の契約実績のデータベース化を決めた。

装備庁は、予定価格を算定する際、民間企業の見積もりなどに依存していた。

**防衛装備品価格分析できず 検査院、仕様見直し提言へ**  
日経新聞 2018/10/9 22:19

防衛装備品を適正価格で調達するため、防衛装備庁が2022年度の導入に向けて試験運用しているシステムを会計検査院が調べた結果、価格の比較やデータの分析ができないことが9日、関係者への取材で分かった。

検査院は、このままではシステムが有効に機能するかどうか検証できず、22年度の導入が困難になる恐れがあるとして、仕様の見直しなどを提言する方針。

政府は、14～18年度の中期防衛力整備計画で、効率的な装備品の取得や適正価格の積算のため、過去の契約実績のデータベース化を決めた。

装備庁は、予定価格を算定する際、民間企業の見積もりなどに依存していた。このため独自に積算できるように14～17年度に2億円余りを投じ、契約の進捗状況やコストの情報を管理、分析する「ライフサイクルコスト・コストデータベース・パイロットモデル(CDBシステム)」を整備。16年度に試験運用を始めた。

しかし、会計検査院が調べたところ、このシステムは予定価格の基準となる「計算価格」と製造原価のうち1つしか入力できず、価格が比較できないほか、入力データの分析もできない仕様になっていた。

防衛装備庁の担当者は取材に「検査結果が出ておらず、コメントできない」と話している。[共同]

**防衛装備品データベース 本格運用困難 見直しを 会計検査院**

NHK 2018年10月9日 12時19分

防衛装備品の調達コストを抑えるため部品の価格などを登録するデータベースに、必要な情報がほとんど集まらず4年後の本格運用が困難になっているとして、会計検査院は、防衛装備庁に対しシステムの見直しなどを求める方針です。戦車や戦闘機、艦船などの防衛装備品は製造する企業が限られ、市場価格を算出しにくいことなどから、防衛装備庁は調達コストを抑えるために2億3000万円余りをかけて部品や作業の原価の情報を集めるデータベースを整備し、おとし試験的に導入しました。

しかし、会計検査院が調べたところ、メーカーなどから集まった1000件を超える情報のうち、部品の原価がわかる

など必要な内容のものは、1割にも満たないおよそ90件しかありませんでした。

関係者によりますと、メーカーとの調整が十分でなく、登録された情報の多くが契約価格などになっていて、製造原価の分析には使えないということです。

会計検査院は、このままだと4年後の本格運用は困難だとして防衛装備庁に対しシステムの見直しなどを求めることにしています。

これについて防衛装備庁は「今の時点では何も申し上げられない」としています。

### 特集ワイド 軍隊は住民を守らない 沖縄戦・牛島司令官の孫・貞満さん、9条改憲の動きに懸念

毎日新聞 2018年10月9日 東京夕刊



沖縄戦で米軍の砲撃によって破壊された首里の教会

「鉄の暴風」という言葉をご存じだろうか。1945年の沖縄戦で、米軍から地形が変わるほどの激しい艦砲射撃や空襲を受けたことをたとえた言葉だ。撃ち込まれた鉄の破片を片手に、全国各地で講演する元小学校教諭の牛島貞満さん（65）は、この沖縄戦を率いた牛島満司令官の孫だ。今、9条改憲の動きに懸念を示す。【小松やしほ】

「もし戦争が起きたら、軍隊は住民を守ってくれると思いますか」。9月13日、東京都江東区で行われた沖…

### 日豪の外相・防衛相きょう会談 中国念頭に連携確認へ

NHK10月10日 7時02分



日本とオーストラリアの外務・防衛の閣僚協議がオーストラリアで開かれます。日本としては、東シナ海などで海洋進出の動きを強める中国を念頭に、安全保障面での緊密な連携を確認したい考えです。

日本時間の10日昼前からシドニーで開かれる日本とオーストラリアの外務・防衛の閣僚協議、いわゆる2+2には、日本側から河野外務大臣と岩屋防衛大臣、オーストラリア側からペイン外相とパイン国防相が出席します。

日本は、「自由で開かれたインド太平洋戦略」に基づき、法の支配や航行の自由を重視する立場から、協議では、東シナ海や南シナ海で海洋進出の動きを強める中国を念頭に、緊密に連携して対応していくことを確認したい考えです。また、自衛隊とオーストラリア軍が、より円滑に共同訓練や災害支援を行えるようにする新たな協定の締結に向けた交渉も行われる見通しです。

一方、外相と防衛相による個別の会談も予定されていて、安全保障上、アメリカに次ぐ重要なパートナーと位置づけるオーストラリアとそれぞれ連携の強化を図る方針です。

### 正恩氏妹、対米でも存在感 ポンペオ長官との会談同席

共同通信 2018/10/8 20:11



北朝鮮の金正恩朝鮮労働党委員長（右から2人目）とポンペオ米国務長官（左から2人目）の会談に同席した金与正党第1副部長（右端）＝7日、平壤（朝鮮中央通信撮影・共同）

【北京共同】北朝鮮の金正恩朝鮮労働党委員長とポンペオ米国務長官が7日に会談した際、正恩氏の妹、金与正党第1副部長が通訳以外でただ一人、北朝鮮側から同席したことが8日、米側発表や北朝鮮の報道で確認された。南北関係だけでなく対米交渉にも本格的に関与していることを示し、与正氏の存在感が一気に増しそうだ。

ポンペオ氏の訪朝は4度目だが、与正氏が交渉の場に参加したのが確認されたのは初めて。韓国の聯合ニュースは、これまで対米交渉窓口になってきた軍出身の金英哲党副委員長に米側が拒否感を示し、正恩氏が配慮した可能性もあると指摘した。

### 米朝、終戦宣言と非核化で応酬 北朝鮮、中口とも協議

朝日新聞デジタルソウル＝牧野愛博 2018年10月10日 05時00分

北朝鮮の金正恩（キムジョンウン）朝鮮労働党委員長とポンペオ米国務長官が7日に平壤で行った会談で、朝鮮戦争の終戦宣言や非核化の対象リストをめぐって厳しいやりとりがあったことが分かった。米朝関係筋が明らかにした。米朝は今回の会談で2回目の首脳会談の早期開催で一致したが、首脳会談で目指す合意の内容に進展はみられなかつ

たようだ。

モスクワでは9日、北朝鮮とロシア、中国の3カ国が外務次官級の協議を開いた。北朝鮮には中口の「後ろ盾」を得て米朝交渉を有利に進め、中口には米国を牽制（けんせい）する狙いがありそうだ。米国務省のビーガン北朝鮮政策特別代表と北朝鮮の崔善姫（チェソンヒ）外務次官は、早ければ15日にもウィーンで協議を始める見通し。米朝再会談をめぐる外交が活発に展開されている。

この米朝関係筋によると、正恩…

## 米国務長官、金正恩氏との会談で拉致問題を提起

読売新聞 2018年10月09日 12時13分

【ソウル＝大木聖馬、岡部雄二郎】米国のポンペオ国務長官は8日、滞在先のソウルで同行記者団に対し、7日に

### ピョンヤン キムジョンウン

北朝鮮の平壤で行った金正恩朝鮮労働党委員長との会談で、日本人拉致問題を提起したことを明らかにした。北朝鮮の核とミサイルエンジン実験場の廃棄をめぐり、正恩氏が査察官を受け入れる意向を示したとし、「準備ができ次第、派遣する」とも述べた。9日には、中露朝の3か国外務次官協議がモスクワで開かれ、首脳往来などを議論するとみられ、関係国の外交が活発化している。

ポンペオ氏は、北朝鮮が国際社会との関係改善に合意しているとし、「拉致問題など多くの取り組まなければならない問題があり、金委員長もそのことを完全に理解している」と指摘した。

## 政府 非核化で米との連携強化へ ポンペオ氏訪朝を受け

毎日新聞 2018年10月9日 17時47分(最終更新 10月9日 18時04分)



ポンペオ米国務長官＝佐々木順一撮影

日本政府はポンペオ米国務長官の訪朝を受け、米国が2回目の米朝首脳会談での合意を優先して非核化などで妥協しないよう、日米の連携を強めたい考えだ。ポンペオ氏は訪朝後の8日夜、河野太郎外相と約15分間、電話で協議し、金正恩（キムジョンウン）朝鮮労働党委員長との会談内容などを報告。河野氏は記者団に「連携を強化しながら非核化に当たることで一致した」と語った。

ポンペオ氏は日本側の要請を踏まえ、金氏との会談で拉

致問題も提起したと河野氏に伝えた。西村康稔官房副長官は9日の記者会見で「米国とはあらゆる機会を通じて綿密にすりあわせている。日米、日米韓で緊密に連携したい」と改めて強調した。【田辺佑介】

## トランプ大統領 米朝首脳会談に向け「最終調整」

NHK10月10日 0時28分



アメリカのトランプ大統領は北朝鮮のキム・ジョンウン（金正恩）朝鮮労働党委員長との2回目の首脳会談について、開催場所をシンガポール以外の数か所に絞り込んで、最終調整を行っていることを明らかにしました。

アメリカのポンペオ国務長官は7日、北朝鮮の首都ピョンヤンを訪問してキム・ジョンウン朝鮮労働党委員長と会談し、2回目の米朝首脳会談を出来るだけ早く開く方向で一致しました。

これについてトランプ大統領は、ホワイトハウスで記者団に対し「キム委員長とは良好な関係で、私は彼が好きだし、彼も私のことが好きだ。ポンペオ国務長官からは首脳会談の実現に向けて良い話し合いができた」と報告を受けている」と述べました。

そのうえでトランプ大統領は「実務者どうしで首脳会談の開催に向けた最終調整を行っている。開催場所として3か所から4か所を検討しているが、シンガポールにはならないだろう」と述べ、米朝両国で開催場所をシンガポール以外の数か所に絞り込んで、最終調整を行っていることを明らかにしました。

アメリカと北朝鮮では、非核化の進め方などをめぐる立場が異なり、首脳会談の開催に向けて依然、課題が残っている模様で、今後の実務者どうしの協議の行方が注目されています。

## 正恩氏 核実験場に「査察官」 発射場にも招待へ

毎日新聞 2018年10月9日 11時15分(最終更新 10月9日 11時43分)



北朝鮮の金正恩朝鮮労働党委員長＝2018年6月11日

## 撮影

【ワシントン会川晴之】7日に北朝鮮を訪問し金正恩（キム・ジョンウン）朝鮮労働党委員長と会談したポンペオ米 국무長官は8日、金氏が北東部の豊溪里（プンゲリ）地下核実験場に加え、北西部の東倉里（トンチャンリ）の西海（ソヘ）衛星発射場についても、国際査察官による査察を認める考えを示したと明らかにした。訪問中のソウルで同行記者団の質問に答えた。

ポンペオ氏は、トランプ米大統領と金氏との再会談について「極めて近づいた」と述べる一方で、まだ詰め作業が残ると指摘。米務省のビーガン北朝鮮担当特別代表と、北朝鮮外務省の崔善姫（チュ・ソニ）次官による事務レベル協議を早期に開く考えを示した。

北朝鮮は豊溪里や東倉里の両施設に加え、米国が「相応の措置」を取った場合は寧辺（ニョンビョン）の核施設を完全廃棄する考えを表明している。だがポンペオ氏は、寧辺への査察官派遣については答えず、北朝鮮の非核化を巡り米朝間に依然として意見の隔りがあることをうかがわせた。

## 核実験場への査察受け入れ 正恩氏、米務長官に伝える 東京新聞 2018年10月9日 夕刊

【北京＝城内康伸】北朝鮮国営の朝鮮中央通信は八日、金正恩（キムジョンウン）朝鮮労働党委員長が訪朝したポンペオ米務長官と七日に会談し、二回目の米朝首脳会談準備のための実務協議を早期に行うことで合意した、と伝えた。一方、米務省は、正恩氏がポンペオ氏に、坑道を爆破した豊溪里（プンゲリ）の核実験場への査察を受け入れると伝えたと明らかにした。

同通信によると、正恩氏は会談結果を高く評価し、満足の意を表明したという。ポンペオ氏との会談の友好的雰囲気伝えており、トランプ米大統領との再会談を実現したい正恩氏の意欲が反映されている。

また正恩氏は、会談で「非核化問題の解決のための方策と双方の憂慮事項」について詳細に説明し、ポンペオ氏と「建設的な意見」を交換。正恩氏は「近く第二回首脳会談に関する立派な計画が整うと確信する」と強調した。

その上で、次回の首脳会談を契機に「全世界の関心事となっている問題の解決と、前回の会談で提示した目標達成で、必ず大きな進展がある」という意思と確信を表明したとされる。

八日付の党機関紙・労働新聞（電子版）は、正恩氏とポンペオ氏との会談について、一面全面を使って報じた。

韓国大統領府は、ポンペオ氏に同行した米政府当局者の話として、ポンペオ氏が正恩氏と面会した時間は計五時間半に上ったと説明した。

## 安倍首相、未来志向の関係構築を＝日韓共同宣言20年で

## 記念行事



日韓共同宣言20周年記念シンポジウムであいさつする安倍晋三首相。右は李洙勲駐日韓国大使＝9日午後、東京都港区

安倍晋三首相は9日、日韓共同宣言から8日で20年を迎えたことを記念するシンポジウムであいさつし、「未来志向の関係を築き上げていきたい」と述べ、共同宣言でうたった精神の実現を訴えた。慰安婦問題をめぐる日韓合意の形骸化など、両国間に横たわる問題を念頭に置いた発言だ。

首相はの中で「日韓両国は、隣国であるが故にさまざまな難しい課題がある。政治のリーダーシップによる大きな決断が必要だ」と指摘。「さまざまな世論など圧力を乗り越えて、大所高所から責任者は決断していくことによって初めて両国関係は未来志向となり、前進していく」とも語った。

韓国の李洙勲駐日大使は「難しい問題は知恵を絞り、賢くマネージ（管理）する一方、実質的な連携を強化していく方向へと両国関係を発展させていく必要がある」と述べた。（時事通信 2018/10/09-18:59）

## 安倍首相「文大統領と共に努力」 日韓発展へ決意 共同通信 2018/10/9 19:15



日韓共同宣言20周年を記念するシンポジウムであいさつする安倍首相＝9日、東京都内のホテル

安倍晋三首相は9日、東京都内で開かれた日韓共同宣言20周年を記念するシンポジウムであいさつし、日韓両国に懸案があることを認めつつ「関係発展のために文在寅大統領と共に努力していきたい」と決意を表明した。北朝鮮の拉致、核、ミサイル問題への対応を重視し、韓国と連携する立場を改めて打ち出した格好だ。

首相は慰安婦問題をはじめとする歴史認識や島根県・竹島（韓国名・独島）を巡る領有権争いなどを念頭に「日韓は隣国であるが故に難しい問題が存在する」と指摘。その上で「政治のリーダーシップによる大きな決断が必要だ」と強調した。

安倍首相 韓国との連携を重視 「友好」維持に腐心  
毎日新聞 2018年10月9日 20時44分(最終更新 10月9日 20時44分)

安倍晋三首相は9日、日韓共同宣言20周年を記念するシンポジウムで「隣国ゆえに難しい問題があり、乗り越えるには政治のリーダーシップが必要だ。関係発展へ文在寅(ムンジェイン)大統領と努力したい」と強調した。両国は慰安婦を巡る日韓合意(2015年)の履行などを巡ってあつれきが続くが、首相は北朝鮮の核・ミサイル問題や拉致問題の解決に向け、韓国との連携を重視。対立が先鋭化しないよう「友好」維持に腐心している。

日本政府は20周年を機に人的交流の推進などを進めたい考えだったが、韓国側は夏ごろから、慰安婦合意に基づいて設立した「和解・癒やし財団」の解散を示唆。文氏は9月の日韓首脳会談で、解散を求める韓国世論を伝え、韓国メディアは「解散を事実上通告」などと一斉に報じた。

日本政府は財団解散は慰安婦合意の破棄と同義とみて警戒しており、首相は文氏に「合意の着実な実施が必要だ」と要請した。韓国が解散に踏み切れれば関係悪化は避けられず、12月とされる元徴用工による賠償訴訟判決の行方にも、日本側は神経をとがらせる。

ただ、日本政府は韓国への強い批判は控えている。今月5日には海上自衛隊の旭日旗掲揚を巡り、防衛省が韓国で開かれる国際観艦式への参加を中止したが、菅義偉官房長官は「対応は防衛省で検討する」と慎重な発言に終始。政府関係者は「外交問題化を避けるためだ」と解説する。

首相は9日のシンポジウムで「未来志向の日韓関係を築き上げたい」と改めて強調した。韓国側で1日に開かれた同様の行事に文氏は参加しておらず、首相の熱意がにじんだ形だ。

【小山由宇】

## 海幕長、韓国訪問へ 観艦式関連行事に出席

日経新聞 2018/10/9 17:39

防衛省は9日、韓国南部の済州島での「国際観艦式」に合わせて12日に開くシンポジウムに村川豊海上幕僚長が参加すると発表した。観艦式を巡っては韓国側が自衛艦旗である旭日旗の掲揚を自粛するよう通知。日本側は海上自衛隊の護衛艦の派遣見送りを決めていた。村川氏は9日の記者会見で「日韓防衛協力の推進は重要だ」と語った。

参加するのは12日の「西太平洋海軍シンポジウム」。米国、カナダ、オーストラリアなど40カ国超の海軍の代表らが出席し海洋安全保障を巡り意見を交わす。

## 憲法審査会長に森氏留任＝議運・高市氏、予算・野田氏一衆院

自民党は9日の総務会で、衆院の常任・特別委員長、審

査会長の人事を内定した。憲法審査会長の森英介氏は留任。議院運営委員長に高市早苗氏、予算委員長に野田聖子氏を起用する。10月下旬召集予定の臨時国会で選ばれる。

新たな委員長、審査会長は次の通り。

◇常任委員長

【内閣】牧原 秀樹氏(まきはら・ひでき)東大法卒。環境政務官、厚生労働副大臣。比例北関東、当選4回。47歳。

【法務】葉梨 康弘氏(はなし・やすひろ)東大法卒。財務政務官、法務副大臣。茨城3区、当選5回。58歳。

【外務】若宮 健嗣氏(わかみや・けんじ)慶大商卒。防衛副大臣、党国防部会長。東京5区、当選4回。57歳。

【財務金融】坂井 学氏(さかい・まなぶ)東大法卒。財務副大臣、総務副大臣。神奈川5区、当選4回。53歳。

【文部科学】亀岡 偉民氏(かめおか・よしたみ)早大教育卒。復興政務官、党文部科学部会長。比例東北、当選4回。63歳。

【厚生労働】富岡 勉氏(とみおか・つとむ)長崎大院修了。文部科学副大臣、文部科学委員長。比例九州、当選4回。70歳。

【農林水産】武藤 容治氏(むとう・ようじ)慶大商卒。外務副大臣、経済産業副大臣。岐阜3区、当選4回。62歳。

【国土交通】谷 公一氏(たに・こういち)明大政経卒。復興副大臣、震災復興特別委員長。兵庫5区、当選6回。66歳。

【環境】秋葉 賢也氏(あきば・けんや)東北大院修了。総務政務官、厚生労働副大臣。宮城2区、当選6回。56歳。

【安全保障】岸 信夫氏(きし・のぶお)慶大経卒。防衛政務官、外務副大臣。山口2区、当選3回(参院2回)。59歳。

【国家基本政策】佐藤 勉氏(さとう・つとむ)日大工卒。国家公安委員長、党国対委員長。栃木4区、当選8回。66歳。

【予算】野田 聖子氏(のだ・せいこ)上智大外国語卒。党総務会長、総務相。岐阜1区、当選9回。58歳。

【議院運営】高市 早苗氏(たかいち・さなえ)神戸大経営卒。党政調会長、総務相。奈良2区、当選8回。57歳。

◇特別委員長

【災害対策】望月 義夫氏(もちづき・よしお)中大法卒。環境相、党幹事長代理。静岡4区、当選8回。71歳。

【政治倫理・公選法改正】山口 俊一氏(やまぐち・しゅんいち)青学大文卒。沖縄・北方担当相、党総務会長代理。徳島2区、当選10回。68歳。

【拉致問題】山口 壮氏(やまぐち・つよし)東大法卒。外務副大臣、党政調副会長。兵庫12区、当選6回。64

歳。

【消費者問題】土屋 品子氏（つちや・しなこ）聖心女子大卒。厚生労働副大臣、党総務副会長。埼玉13区、当選7回。66歳。

【東日本大震災復興】古川 禎久氏（ふるかわ・よしひさ）東大法卒。党青年局長、財務副大臣。宮崎3区、当選6回。53歳。

【原子力問題調査】高木 毅氏（たかぎ・つよし）青学大法卒。議院運営委員長、復興相。福井2区、当選7回。62歳。

【地方創生】松野 博一氏（まつの・ひろかず）早大法卒。文部科学委員長、文部科学相。千葉3区、当選7回。56歳。

◇審査会長

【憲法】森 英介氏（もり・えいすけ）東北大工卒。厚生労働副大臣、法相。千葉11区、当選10回。70歳。

【情報監視】浜田 靖一氏（はまだ・やすかず）専大経営卒。防衛相、予算委員長。千葉12区、当選9回。62歳。

【政治倫理】細田 博之氏（ほそだ・ひろゆき）東大法卒。官房長官、党幹事長。島根1区、当選10回。74歳。

(2018/10/09-16:50)

### 小泉進次郎氏退き、稲田朋美氏に...筆頭副幹事長

読売新聞 2018年10月09日 21時53分

自民党は9日の総務会で、衆院の常任・特別委員長と審査会長の人事を内定した。党憲法改正推進本部長を退く細田博之氏は政治倫理審査会長に起用する。予算委員長に野田聖子・前総務相、議院運営委員長に高市早苗・元総務相を充てる。森英介憲法審査会長は留任させる。今月下旬召集予定の臨時国会で選ばれる見通しだ。

総務会では四役などを除く党役員人事も決めた。幹事長代理は林幹雄、金田勝年、松村祥史の3氏とも留任する。筆頭副幹事長には稲田朋美・元防衛相が就き、小泉進次郎氏は退く。9月の総裁選で石破茂・元幹事長を支持した小淵優子・元経済産業相は引き続き組織運動本部長代理を務める。

細田、野田、高市の3氏以外に内定した新任の衆院常任・特別委員長、審査会長は次の通り（敬称略）。

◇...常任委員長...◇

内閣 牧原秀樹▽法務 葉梨康弘▽外務 若宮健嗣▽財務金融 坂井学▽文部科学 亀岡偉民▽厚生労働 富岡勉▽農林水産 武藤容治▽国土交通 谷公一▽環境 秋葉賢也▽安全保障 岸信夫

◇...特別委員長...◇

政治倫理確立・公選法改正 山口俊一▽拉致問題 山口壮▽消費者問題 土屋品子▽東日本大震災復興 古川禎久▽地方創生 松野博一

◇...審査会長...◇

情報監視 浜田靖一

### 自民党 稲田元防衛相が筆頭副幹事長に 小泉進次郎氏退任

毎日新聞 2018年10月9日 19時31分(最終更新 10月9日 21時21分)



稲田朋美元防衛相

自民党は9日の総務会で、稲田朋美元防衛相（59）を筆頭副幹事長に起用するなどの人事を了承した。小泉進次郎氏（37）は筆頭副幹事長を退任した。経理局長に福井照前沖繩・北方担当相（64）を充て、青年局長には佐々木紀氏（43）を局長代理から昇格させた。

財務委員長に塩谷立前選対委員長（68）、女性局長に三原じゅん子参院消費者問題特別委員長（54）を起用。林幹雄氏（71）ら3人の幹事長代理は続投し、国対筆頭副委員長には菅原一秀元副財務相（56）が就いた。

二階俊博幹事長は9日の記者会見で稲田氏について「信頼して相当な部分を任せたい。女性の意見を政治に反映していけるようにする」と述べた。

衆院の常任、特別委員長などの人事では、予算委員長に野田聖子前総務相（58）、議院運営委員長に高市早苗元総務相（57）、政治倫理審査会長に細田博之元官房長官（74）が内定し、森英介憲法審査会長（70）は留任する。秋の臨時国会で選任される。【竹内望】

### 野田参院議員が立憲会派へ＝国民民主と同数に

無所属の野田国義参院議員（福岡選挙区）は9日、福岡県庁で記者会見し、24日にも召集される臨時国会までに立憲民主党の会派に入会する意向を表明した。野田氏が加わると立憲会派は24議席となり、参院野党第1党の国民民主党会派と並ぶ。

野田氏は「野党結集ができるよう今後も努力したい。しっかり自民党に対峙（たいじ）し、違いを示すことが必要だ」と強調。立憲入党の可能性については明言を避けた。

（時事通信 2018/10/09-15:52）

### 国会 立憲民主が参院会派最大野党に 国民民主と並ぶ

毎日新聞 2018年10月9日 18時34分(最終更新 10月9日 18時46分)



野田国義氏＝野田武撮影

来夏の参院選福岡選挙区（改選数3）に立候補予定の現職の野田国義氏（60）＝無所属＝が9日、福岡県庁で記者会見し、臨時国会前に参院会派「立憲民主党・民友会」（23人）に入ると発表した。実現すれば参院の野党最大会派「国民民主党・新緑風会」（24人）と同数となり、国会運営にも影響を与える可能性がある。入党については「政党間や連合などとの調整が必要」と明言を避けた。

産経新聞 2018.10.9 20:44 更新

### 立憲民主と国民民主が同数で参院野党第一会派に 臨時国会へ主導権争い過熱



会見で立憲民主党の参院会派入りを表明する野田国義参院議員＝9日、福岡県庁

無所属の野田国義参院議員（福岡選挙区）は9日、福岡県庁で記者会見し、立憲民主党会派に入る意向を表明した。実現すれば同党会派は24人となり、参院野党第一会派の国民民主党と同数になる。野党最大会派の人数が並ぶのは異例で、参院事務局は「前例がないため、どちらが野党第一会派として扱われるか分からない」と話している。

他にも参院の国民民主党会派に所属する議員1人が会派を離脱する可能性が取り沙汰されており、秋の臨時国会までに立憲民主党会派が単独野党第一会派になる可能性もある。

一方、国民民主党幹部は9日、「ただ指をくわえているわけではない」と語り、無所属議員を取り込むなどして単独第一会派の座を守る姿勢を示した。秋の臨時国会を控え、両党の主導権争いは激しさを増しそうだ。

### 無所属の野田国義参院議員が立民会派へ 国民と同数に NHK2018年10月9日 15時07分

無所属の野田国義参院議員は記者会見し、参議院の立憲民主党の会派に入会する意向を明らかにしました。野田氏の会派入りが認められれば、参議院の立憲民主党の会派に所属する議員の数は、国民民主党の会派と並ぶことになり

ます。

この中で、野田国義参議院議員は「しっかり自民党と対しなければならぬ。『立憲民主党は自民党との違いがよくわかる』とか『勢いがある』という声が多く聞かれる」と述べ、参議院の立憲民主党の会派に入会する意向を明らかにしました。

野田氏の会派入りが認められれば、参議院の立憲民主党の会派に所属する議員の数は24人となり、参議院の野党第一会派である国民民主党の会派と並ぶこととなります。

野田氏は平成21年から衆議院議員を1期務め、平成25年の参議院選挙の福岡選挙区に民主党から立候補して当選しました。

その後、民進党に所属していましたが、ことし5月に結成された国民民主党には加わらず、無所属で活動していました。

### 自民・加藤総務会長、ポスト安倍に意欲＝「高み見据えて進む」



記者会見する自民党の加藤勝信総務会長＝9日、東京・永田町の同党本部

自民党の加藤勝信総務会長は9日の記者会見で、将来、首相を目指すのか問われ「常に高みを見据えながら進めていきたい」と述べ、「ポスト安倍」への意欲を示した。また、「力をつけて地元のために、日本のために頑張ってもらいたい」という声もいただき、そういう志を持ってやっている」とも語った。

加藤氏は安倍晋三首相の側近の一人。第2次安倍政権発足以降、官房副長官や厚生労働相などを歴任。先の党役員人事では総務会長に就任し、初めて党4役入りを果たした。

一方、現時点で次期総裁選への出馬を目指すか否かについては「与えられた仕事をしっかりやり遂げることが肝要だ。そこから先について、具体的なことを考える余裕はない」と述べるにとどめた。（時事通信 2018/10/09-14:49）

### 加藤総務会長、ポスト安倍に意欲 「常に高み見据える」 朝日新聞デジタル及川綾子 2018年10月9日 17時12分

自民党の加藤勝信総務会長は9日の記者会見で、将来的に首相を目指すかを問われ、「常に高みを見据えながら進めていきたい」と「ポスト安倍」に意欲をにじませた。

加藤氏は岡山5区選出の当選6回。竹下派に所属するが、安倍晋三首相の側近として知られ、2012年の第2次安

倍政権発足後、官房副長官や厚生労働相などを務めた。2日の党役員人事で総務会長に就いた。

首相周辺には将来の首相候補として推す声があり、加藤氏は9日の会見で、「力をつけて、地元のために、日本のために頑張りたいという声もいただきながら、そういう志をもっている」と語った。

ただ、3年後に予定されている次期総裁選への立候補については、「与えられた仕事をしっかりやり遂げることが肝要だと思っており、そこから先について今、具体的なことを考える余裕はない」と述べるにとどめた。(及川綾子)

**自民・加藤氏「高み見据え進めたい」総裁への意志問われ**  
朝日新聞デジタル 2018年10月9日 13時59分



加藤勝信・自民党総務会長

加藤勝信・自民党総務会長（発言録）

（首相や自民党総裁をめざす考えがあるか問われて）議員を応援する地域の方々から「力をつけて、日本のために頑張りたい」という声もいただく。私もそういう立場でありますから、色んな運とかがあって一概にはいかないものではあるが、常にそこ（首相や総裁）を高みを見据えながら進めていきたい。

結果、自分にどういう役が合うのか。最後は歴史の中で決まっていくことだろう。いただいた役を一つひとつこなしていきたい。

（3年後の総裁選への立候補について）いま与えられた仕事をしっかりやり遂げることが肝要だ。先について具体的なことを考える余裕はありません。（記者会見で）

**筆頭副幹事長に稲田氏 自民、役員人事を了承**

日経新聞 2018/10/9 19:41

自民党は9日の総務会で、筆頭副幹事長に稲田朋美元防衛相を充てるなど役員人事を了承した。その他の主な人事は次の通り。（敬称略）



稲田朋美氏

幹事長代理=林幹雄、金田勝年、松村祥史▽経理局長=福井照▽情報調査局長=木原誠二▽国際局長=小泉龍司▽財務委員長=塩谷立▽組織運動本部長代理=小渕優子、三ツ矢憲

生、藤井基之▽国会対策委員長代理=松本純▽国対筆頭副委員長=菅原一秀▽両院議員総会長=尾辻秀久▽政調会長代理=田村憲久、今村雅弘、新藤義孝、金子恭之、松本剛明、後藤茂之、坂本哲志、宮下一郎、二之湯智、福岡資麿▽党紀委員長=山東昭子

**国会改革 「山を動かす」小泉氏ら自民党若手議員が座談会**

毎日新聞 2018年10月9日 20時22分(最終更新 10月10日 02時56分)

先の通常国会では森友学園や加計学園問題の一方で、国会の政策論議を深める仕組み作りを目指す機運も高まった。臨時国会を前に、国会改革に取り組んできた「2020年以降の経済社会構想会議」の自民党若手議員4人に聞いた。

【司会は政治部長・佐藤千矢子】



加藤結子議員=東京都千代田区で2018年10月9日、根岸基弘撮影

議論がフェアに進んでいるかどうかに関心…加藤氏

—なぜ国会改革に取り組もうと思ったのでしょうか。

村井英樹氏 平成の時代は小選挙区制度の導入や内閣機能の強化があって、官邸主導の仕組みが定着してきた。しかし国会の側の改革は残されている。

牧島かれん氏 制度の話であるにもかかわらず関心が高い。

小泉進次郎氏 牧島さんが言うように、関心を持たれるようになったこと自体が大きな一歩だ。国会改革はこれまでなかなか動かなかった。動いていない山を動かすためには国民の後押しが不可欠だ。今秋の臨時国会も大きなチャンスだ。

加藤結子氏 国民は政治の進め方に関心を持っている。政策の中身だけではなく、きちんと議論をされているかどうかや、与野党の議論がフェアに進んでいるかどうかに関心がある。そこを解きほぐしていくのは国会改革だ。

—2020会議でまとめた提言と、その後に超党派でまとめた提言の内容にはかなり違いがあります。

小泉氏 その違いが現実だ。山の登りはじめが超党派の提言で、山を登って行って、たどり着く方向性は2020会議の提言だ。

大きな山に登るには、まず一歩登りはじめないと頂上には絶対たどりつかない。

国会改革は2014年に与野党の国対委員長が合意し、文書に署名もしているのに進まなかった。「負け癖」がつい

てしまい、どうせできない、という思いがある。これを「やればできる」ということに変えていくには、小さいと思われても動かしていく必要がある。



村井英樹議員＝東京都千代田区で2018年10月9日、根岸基弘撮影

ビジョン、政策、追及の「3車線」が必要…村井氏  
――政権だけではなく、野党も含めて政治全体への不信感が広がっています。

村井氏 与党が悪い、野党が悪いというのではなく、仕組みが良くないというのが我々の問題意識だ。

ひとたびスキャンダルが起きると、国会がスキャンダル一色になってしまう。党首同士が国家ビジョンを戦わせる場、政策を議論して法案や予算案を形にしていく場、そしてスキャンダルが起きた場合に問題を追及して結論を出していく、という国会の三つの機能に応じた場が必要だ。この「3車線」を確保しておくことが必要だ。

小泉氏 世界の議会と比べた時に、いかに日本の首相や外相を含めた閣僚が国会に多く出席しているか。議院内閣制の日本と大統領制の米国は、制度は違っても国際政治のプレーヤーとしては同じだ。日本の国益を考えた時にどうなのか。



小泉進次郎議員＝東京都千代田区で2018年10月9日、根岸基弘撮影

安倍政権長期化で、予想外の化学変化…小泉氏

――官邸主導はある程度確立されたので、国会との力関係を見直していくという考え方でしょうか。

小泉氏 官邸主導の方向性は間違っていない。しかし安倍政権が長期化していることで、予想していなかった化学変化が起きている。これを良い景色にするために何ができるかということを考えている。そのことに手が付けられてこなかったから、今、これだけの思いを持って国会改革に取り組んでいる。

村井氏 整理すると四つ問題がある。一つは首相や閣僚が長時間国会に拘束されている。二つ目は、政策より日程闘争が中心になっていること。三つ目は国会が行政を監視

する機能をどうやって適切に発揮するか。四つ目はIT化への対応だ。



牧島かれん議員＝東京都千代田区で2018年10月9日、根岸基弘撮影

野党議員も政策議論を求めている…牧島氏

――野党をどう巻き込んで実現していくかが課題です。

牧島氏 日程に左右されることなく、政府と野党の政策の違いがはっきりするような場を作るのは、野党にとっても国民に訴える場ができる意味がある。

加藤氏 スキャンダルを追及する場を予算委員会と別の特別委員会にする改革は、野党にもメリットがないと実現しない。野党がその問題に集中できるようにしなければならない。

村井氏 ドイツでは、同様の調査会は全議員の4分の1の賛成で設置できる。与党が賛成しないと特別委を設置できない、という仕組みにしないこともありうる。

小泉進次郎氏 こいずみ・しんじろう 元内閣府政務官兼復興政務官 衆院神奈川11区、当選4回。37歳

牧島かれん氏 まきしま・かれん 元内閣府政務官 衆院神奈川17区、当選3回。41歳

村井 英樹氏 むらい・ひでき 元内閣府政務官 衆院埼玉1区、当選3回。38歳

加藤 鮎子氏 かとう・あゆこ 党女性局次長 衆院山形3区、当選2回。39歳



「自民党若手議員座談会」(左から)加藤鮎子議員、小泉進次郎議員、牧島かれん議員、村井英樹議員、司会の政治部長・佐藤千矢子＝東京都千代田区で2018年10月9日、根岸基弘撮影

子どもの貧困、市民が「見守り役」 門真モデル活動1年 朝日新聞デジタル池尻和生2018年10月9日09時13分



子ども食堂を

運営し、「見守り役」のボランティアにも参加している阪田百合子さん＝2018年9月3日、大阪府門真市、池尻和生撮影

#### 大阪府門真市の子どもの支援策の概要



「貧困から子どもたちを救いたい——。大阪府門真市で、市民参加型の子どもの貧困対策が進んでいる。ボランティアの市民らが「見守り役」となり、寄せられた情報で行政が支援に動く全国でも珍しい仕組みだ。活動開始から10月で1年。家庭を公的支援につなげるケースも増えつつあり、別の自治体にも「門真モデル」が広がり始めている。

「その子が置かれた環境は、よく見ておく必要がある」「登校支援の継続で、子どもが次第に登校できるようになった」

9月上旬、門真市役所の一室で開かれた定例の「チーム会議」。元教員や市職員ら14人が集まった。地域の子どもの課題や、その対応策などを報告し合い、今後の活動方針を確認した。

困窮家庭の子どもの早期支援を目的に、市が昨年10月から始めた「子どもの未来応援ネットワーク事業」だ。元教員やスクールソーシャルワーカーらからなる「応援チーム」を役所内につくり、児童相談所や生活保護の関係部署などと連携して対応にあたっている。

事業の大きな特徴は、研修を受けた市民らが「見守り役」としてボランティアで参加していることだ。

同じ洗濯物が何日も干しっぱなし▽いつも同じ服装▽子どもだけで外食している——。断片的なシグナルとして市と市民が協力して作成した14のチェック項目「見守りシート」に基づき、不審に思えばボランティアが応援チームに連絡する。学校だけで子どもの実態をつかむことは難しく、地域全体で見守る必要がある、との考えから導入された。

取り組みの背景には、困窮家庭に必要な公的支援が行き届いていない実態がある。大阪府などの2016年の調査では、最も生活が苦しい所得層で、就学援助費の受給経験のない世帯や、児童扶養手当を受けたことがないひとり親世帯がいずれも1割以上いた。

門真市は約20人に1人が生活保護を受けている。その割合は府内で大阪市に次いで高いことから、府が門真市にモデル事業の実施を依頼した。

現在、ボランティアは目標だった600人を大きく上回る1074人が登録。市民全体のおよそ100人に1人にあたる。

市内で飲食店を営む阪田百合子さん(48)は今春、ボランティアに登録した。元々、子どもの居場所づくりのため、子ども食堂や学習支援の活動も続けてきた。阪田さんは「地域からも孤立して困っている子が多いと思う。ささいなことでも相談できる場所があるのは安心感がある」と話す。また、市内の洋食店店主の中山文寛さん(46)も子ども食堂などの活動を続け、昨年11月にボランティア登録した。「地域のつながりが薄くなった時代だからこそ、こうした活動は大事だと思う。地域の再生にもつながる」

成果は着実に増えている。ボランティアの増加とともに情報提供は増え、現在までに着手した件数は82件。応援チームの元教員らが寄せられた情報などから保護者と接触し、支援のあり方を検討。子どもが不登校になっていたら、自宅まで迎えに行く登校支援もしている。公的支援につなげるなどして対応を終えたケースは38件に上る。

「門真モデル」は、ほかの自治体にも広がりつつある。門真市への視察や情報交換を重ねてきたという和歌山県橋本市は今後、同様の仕組みを導入する方針だ。市内の中学校区単位で「見守り役」のボランティアを募っていくという。市総合政策部の担当者は「行政だけでは限界がある。もっと早期に困っている子どもを発見できる仕組みが必要だと思った」と話す。

大阪市も今春から門真市の事業を参考に、地域と連携した新たな支援態勢の取り組みを始めている。

門真市子ども政策課の小西紀至(のりゆき)さん(38)は、「課題のある子どもの早期発見には、地域の力が無いと難しい。こうした取り組みがほかの地域にも広がってもらえれば」と語った。(池尻和生)

門真市とボランティアが作成した「見守りシート」

- ・同じ洗濯物が何日も干しっぱなし
- ・玄関まわりや家の中が散らかっている
- ・家が子どもたちのたまり場になっている
- ・家の中から大きな音や大人の怒鳴り声が聞こえる
- ・子どもの泣き声がよく聞こえる
- ・いつも同じ服装
- ・いつも一人で遊んでいる
- ・家に帰るのを嫌がる
- ・大人の顔色を気にしている
- ・一人または子どもだけでスーパー、コンビニにいる
- ・いつも登校時間を過ぎて通学している
- ・夜遅くまで外にいる
- ・子どもだけで外食している
- ・近所、地域との付き合いをしない

### 院内保育所も長時間労働、「10時間以上」6割

日経新聞 2018/10/9 20:29

医師や看護師が利用する院内保育所の6割が、1日当たりの保育時間が10時間以上であることが9日、日本医療労働組合連合会（医労連）の調査で分かった。医師らの長時間労働の影響とみられる。医労連は保育士らの処遇面の改善などを求めている。

医労連に加盟する院内保育所など449施設を対象に5月末までに調査し、121施設が回答した。うち81%が認可外保育所だった。

回答した施設のうち「10時間以上」だったのは71施設。

9施設は「13時間以上」だった。

全体の74%が延長保育を実施し、「お迎えがあるまで延長する」が51%だった。休憩時間が「児童とは別に取れる」施設は48%だった一方、「児童と一緒に取っている」(35%)と「取れない」(4%)施設も多く、長時間労働に加えて休憩も十分ではない実態が浮き彫りになった。

医労連の担当者は「安全な保育を提供するため、国に補助金制度の改善などを求めたい」と話した。

### 「Me Too乗っ取られた」疑惑の判事が米国に残した傷

朝日新聞デジタルワシントン＝香取啓介 2018年10月9日17時22分



米ワシ

ントンで6日、連邦最高裁の判事としてジョン・ロバーツ連邦最高裁長官の前で宣誓をするカバノー氏（中央左）。妻が

聖書を両手で持ち、娘2人（手前）も見守った。米連邦最高裁提供＝ロイター

米国の連邦最高裁判事にブレット・カバノー氏（53）が就任した。トランプ大統領が出した人事案を、上院が6日に承認するまでには、カバノー氏の性的暴行疑惑も浮上した。1カ月後の中間選挙を控えて国論が二分されたうえ、司法制度への信頼も傷つくなど、大きな禍根を残した。

6日の上院の採決は、50対48で賛成多数だった。AP通信によると、最高裁判事の指名承認では1881年以来の僅差（きんさ）だという。

カバノー氏の就任で、与党・共和党の支持者にとっては、長年の悲願だった保守派が有利な最高裁が実現した。トランプ氏はカンザス州の演説で「我々の大きな勝利だ。11月の中間選挙は急進的な民主党を止めるチャンスだ」と述べた。

一方、直近の世論調査では、半数近くがカバノー氏の承認に反対。議事堂や最高裁前では、数千人がカバノー氏の承認に抗議した。野党の民主党は中間選挙で、下院で過半数を取れた場合、カバノー氏を弾劾（だんがい）するとちらつかせる。民主党の上院トップ、シューマー院内総務は「米国の変化はいつも同じ場所から始まる。投票箱だ」と話した。

今回の承認が米国内に残した傷痕は小さくない。

女性への性的暴行疑惑の解明が党派対立の陰に埋もれ、議会の権威は失墜。疑惑を巡る公聴会で「仕組まれた政治的攻撃だ」と激化したカバノー氏には、判事としての適性に疑問の声が上がり、中立・独立が重んじられる最高裁への信頼も揺らいだ。さらに、カバノー氏の疑惑に関するFBI調査結果は最高機密扱いで、真相はわからぬまま。「#Me Too」運動で広がった、性被害を訴える女性の権利をどう守るかという問題も取り残された。

最高裁前で抗議活動を行ったフロリダ州のアレッサンドラ・モンドルフィさん（48）は「多くの男性が『性被害はたいしたことない。よくあることだ』と言い出した。女性の生活が脅かされている」と語った。一方、議事堂前で「アメリカを偉大に」というトランプ氏のスローガンの書かれた帽子をかぶっていたジョージア州のトレシー・トンプソンさん（40）は「#Me Tooは政治的目的を持った民主党に乗っ取られてしまった。本当に性被害を訴える女性には気の毒だ」と話した。（ワシントン＝香取啓介）

産経新聞 2018.10.9 20:54 更新

### 保守系民間団体が抗議 「慰安婦対応不十分」との国連人種差別撤廃委の勧告に

複数の保守系民間団体でつくる「慰安婦の真実国民運動」は9日、国連の人種差別撤廃委員会が8月末、日本に対し慰安婦問題への対応が不十分だと批判し「人権侵害」の責任を認めるよう勧告したことに抗議する集会を国会内で開

いた。

集会では「慰安婦問題は、人種差別とは全く関係がなく、日本が人種差別撤廃条約に加入した平成7（1995）年以前の問題で、委員会で取り上げるのは不適切だ」とする決議を採択した。

決議は、政府に対しても「主張すべきことは明確に主張」し、「日本国民の国益のために毅然と行動」するよう強く求めた。

また、人種差別撤廃委のメンバーに、元慰安婦の支援を行う「韓国挺身隊問題対策協議会（挺対協）」の元共同代表らが含まれていることも問題視。「公正な審議を望むことのできない委員によって構成されている」と批判した。

### 電波望遠鏡、東京へ半世紀ぶり里帰り 星雲観測で成果 朝日新聞デジタル井東礁 2018年10月9日10時15分



鹿

児島市の錦江湾公園に設置されていた「6m電波望遠鏡」  
＝鹿児島市、国立天文台提供

鹿児島市の錦江湾公園に設置されていた「6m電波望遠鏡」が10月、国立天文台（東京都三鷹市）へ搬出された。宇宙のわずかな電波を観測し、活躍した望遠鏡は、およそ半世紀ぶりに誕生の地へ戻った。

国立天文台が1970年、敷地内に建設した日本初の本格的なミリ波望遠鏡。星の誕生や消滅する環境を宇宙から届く電波を観測して解明するものだ。岩手、長野を経て鹿児島大学に誘致され、93年に同公園に置かれた。オリオン星雲から出る水蒸気の異常な電波などを発見した。

2001年、鹿児島県薩摩川内市に最新型が置かれ、観測の役目を終えた。近年は同大の学生らが天体望遠鏡の仕組みを学ぶために使っていた。

分解されて10月1日に陸路で運ばれ、3日に到着。現在、組み立て作業中で、近く同天文台の敷地内で展示される。日本天文学会の「日本天文遺産」への登録申請も済ませた。

誘致に携わった同大大学院の面高俊宏・特任教授（電波天文学）は「日本の天文学の地位を押し上げ、地方大学でも最先端の研究ができると示した望遠鏡。その歴史を後世に伝えてほしい」と話した。（井東礁）